

# 第2章

## 事業の検証

### ねらい 東日本大震災、熊本地震の教訓を生かす

- ◎「不測の事態への備え」と「不断の備え」を怠らない
- ◎教職員等の意識啓発に向けた効果的な研修や講習の実施
- ◎実効的な訓練を踏まえたマニュアルの整備・充実



市統一テーマ訓練（災害用組立トイレの組立，北ノ台小学校）

※本章に掲載したご意見等については、原則として原文のまま掲載しています。ただし、個人名等に関する記述がある場合は、該当部分を省略している場合があります。

## 2-1 派遣市職員報告結果

市職員による訓練の概要と、管理職職員等の報告から得られた結果及び課題を抜粋します。

### ◆派遣市職員による訓練の概要

訓練のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>各避難所に指定されている初動要員及び避難所担当職員が、担当する避難所で防災関係設備、物品等の確認及び取扱訓練を行うことで、有事の際の円滑な避難所開設・運営に資する。</li> <li>地域住民と連携して実施する訓練を主導することで、地域住民との信頼関係を構築する。</li> </ul>
訓練概要	避難所運営訓練において、市職員主導による統一メニュー「避難所におけるトイレの確保・管理」訓練を実施
実施日時	平成31年4月27日（土）午前8時30分から避難所運営訓練終了（概ね午後2時～午後4時頃）まで
参加職員	各部管理職、避難所担当職員（教育部、市民部、福祉健康部、子ども生活部）、初動要員
訓練の進行	<p>【午前の部】 参集、通信訓練、携帯トイレ受取、備蓄倉庫内のトイレ関係備蓄品確認、学校施設確認訓練（トイレの場所の確認等）、トイレ設置訓練、震災時対応シミュレーション想定地震発生による通信訓練</p> <p>【午後の部】 統一テーマ「避難所におけるトイレの確保・管理」（避難所運営訓練）</p>

### ▼市職員訓練の流れ（例）

時刻	訓練内容	初動要員	避難所担当職員	管理職
8:00	参集訓練	・職員参集メールによる参集状況確認		
8:30	通信訓練・仮想避難所開設	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅から配置場所（担当避難所）へ参集</li> <li>8:30に各学校集合場所で待合せ</li> <li>避難所運営本部へデジタル防災行政無線又は災害用PHS電話で到着を報告</li> <li>避難所運営マニュアルにより防災設備を確認</li> <li>LED投光器の充電</li> </ul>		8:30に各学校集合場所待合せ。各訓練を視察・見学し、当該学校における事業全体の課題・改善点等の所見をレポート
10:00	住民集合（任意） 備蓄倉庫確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民等が集合し、市職員と顔合わせ</li> <li>防災備蓄倉庫にある主な備蓄品を確認</li> <li>統一テーマによる避難所運営訓練の準備（災害時マンホールトイレ及び組立トイレ設営）</li> </ul>		
	保護者等が災害用トイレ見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者等を対象とし、災害用マンホールトイレ及び組立トイレを見学</li> </ul>		
11:24	震災時対応シミュレーション発災想定時刻			
	通信訓練 避難訓練・引き渡し訓練を見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>初動要員は現場に到着したと想定し、避難所運営本部へデジタル防災行政無線又は災害用PHS電話で到着を報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、保護者等が、災害用マンホールトイレ及び組立トイレを見学</li> </ul>	
昼	休憩			
午後	地域・学校と連携した避難所運営訓練（統一メニュー）の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>統一テーマ「避難所におけるトイレの確保・管理」訓練、座学、意見交換（一部午前中に実施）</li> <li>終了後、固定電話等で本部に訓練終了の旨を報告し、現地解散</li> </ul>		

## ◆管理職職員報告から得られた結果

## 1 派遣職員の参集

①午前8時30分 派遣先学校に集合	
②避難所担当リーダーにより点呼	
③市職員は、災害用作業服又は調布市ベストを着用	
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣職員は全員時間通りに集合場所に集合できた。</li> <li>【参集した初動要員の平均人数：2.8人】</li> <li>【参集した避難所担当職員の平均人数：6.3人】</li> </ul>
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒派遣職員の積極的な参加</li> <li>⇒初動要員と避難所担当職員を兼ねている職員は、避難所担当職員として参加しているが、初動要員として担当する避難所の訓練に参加することも必要。</li> </ul>

## 2 通信訓練

①学校長等（学校長不在の場合は職員室の教職員）に挨拶	
②防災備蓄倉庫に移動し、初動要員が持参する鍵で備蓄コンテナを開放	
③体育館の講師控室又は放送室等にあるデジタル防災行政無線（又は職員室・事務室にある PHS 電話機）で、避難所運営本部（教育総務課）に現地到着を報告	
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての避難所で防災備蓄倉庫を開放でき、学校長等に挨拶ができた。</li> <li>学校長等の挨拶の際、訓練の流れなどを共有できた。</li> <li>全ての避難所において避難所運営本部への現地到着を報告できたが、一部の避難所においてはデジタル防災行政無線の設置場所が学校教職員も分からない、デジタル防災行政無線のある体育館の放送室等が施錠されている避難所があった。</li> <li>デジタル防災行政無線は、避難所から情報を受ける避難所運営本部（教育総務課）で使用できる機器が2台であったため回線が混み合い、無線がつながるまでに相当の時間がかかった。</li> <li>【デジタル防災行政無線機使用：27カ所 PHS 使用：2カ所】</li> </ul>
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒デジタル防災行政無線の設置場所の周知や、設置場所が施錠されている場合は、初動要員に鍵を配付する必要がある。</li> <li>⇒デジタル防災行政無線機の通信状況混線時に、他の通信方法を併用するなどの対応の検討が必要</li> </ul>

### 3 防災施設確認訓練

①避難所運営マニュアル校庭利用計画・校舎利用図一覧にて、校内の防災設備を確認。特に、マンホールトイレ又は組立トイレの設置場所は必ず確認

<p><b>実施結果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの避難所において、避難所運営マニュアルを活用し、校内の防災設備を確認できた。</li> <li>・全ての避難所で、トイレ関係の備蓄品について確認ができた。</li> <li>・リーダーが役割分担を決め、スムーズに進行していた。</li> <li>・雨天であったため、本来の設置場所での訓練ができず、設置場所の調整に戸惑った避難所もあった。</li> <li>・初動要員が持参している鍵では、受水槽や一部の防災備蓄倉庫などが解錠できないものもあった。</li> </ul>
<p><b>主な課題</b></p>	<p>⇒防災備蓄倉庫内の定期的な確認や整理，不足部品への対応，リストの更新・改善                  ⇒防災備蓄倉庫内の抜本的な整理と重要性の高いものを出しやすくするなどの検討                  ⇒雨天時における対応の確認</p>

### 4 防災備蓄倉庫内の備蓄品を確認

①防災備蓄倉庫の扉に貼ってある備蓄品所在一覧を参考にして、主要な備蓄品の所在を確認  
 ②訓練で使用する組立トイレ（1～2基），マンホールトイレ（設置校のみ。1～2基）などをすぐ使用できるよう、手前に置くか、場所を把握  
 ③LED投光器を取り出し、充電する。

<p><b>実施結果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての避難所において、主要な備蓄品の所在を確認できた。</li> <li>・各避難所において、LED 投光器を充電できた。</li> </ul>
<p><b>主な課題</b></p>	<p>⇒2 基目の防災備蓄倉庫に「備蓄品所在一覧」がないなど、一覧と実際の備蓄品を合致させることが必要                  ⇒部品が欠損している備蓄品の修理が必要</p>

### 5 地域住民集合・挨拶

①午前 10 時頃、防災備蓄倉庫付近などで、地域住民が参集【地域住民の参集は任意】  
 ②地域住民と市職員が集まり、自己紹介やこの後の流れを確認

<p><b>実施結果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの避難所において、地区協議会や自治会の方々が集めた。                      【住民等が集めた避難所数 18 カ所】</li> </ul>
<p><b>主な課題</b></p>	<p>⇒住民に対する周知方法の再検討や流れの共有が必要</p>



## 6 防災備蓄倉庫の確認訓練

- ①防災備蓄倉庫の扉に貼ってある備蓄品所在一覧を参考にして、主要な備蓄品の所在を確認
- ②訓練で使用する組立トイレ（1～2基）、マンホールトイレ（設置校のみ。1～2基）などをすぐ使用できるよう、手前に置くか、場所を把握
- ③住民から要望がある場合等は、防災備蓄倉庫の整理も可。この場合、職員は、備蓄倉庫班とトイレ班に分かれて訓練を行う。

実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの避難所において、防災備蓄倉庫の確認ができ、住民に備蓄品を確認していただくことができた。</li> </ul>
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒備蓄品の一部が欠損したり、備蓄品そのものが確認できないものがあった。</li> <li>⇒2基目の防災備蓄倉庫に「備蓄品所在一覧」がないなど、一覧と実際の備蓄品を合致させることが必要</li> <li>⇒防災備蓄倉庫内の抜本的な整理と重要性の高いものを出しやすくするなどの検討</li> </ul>

## 7 トイレ設置訓練(事前練習)

### ※「避難所におけるトイレの確保・管理 市職員実施要領」に基づき行動

トイレ設置訓練で市職員が主導することを意識して、事前練習に臨む

- ①事前に、職員全員でマンホールトイレ及び組立トイレを設置
- ②地域からの要請でマンホールに水を流す場合など、バケツやホースが必要な場合は学校から借用

実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各避難所において、マンホールトイレ、組立トイレの設置ができた。</li> <li>・各避難所の状況に応じて、派遣職員が地域の方と協力して、組み立てることができた。</li> </ul>
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒雨天時の対応の検討と周知、現場での判断が必要</li> <li>⇒備蓄品が重いため、女性や高齢者等のみで組み立てるのは困難</li> <li>⇒取扱説明書では理解しにくいいため、慣れていないとトイレを組み立てるのは難しい。</li> </ul>

## 8 保護者等による災害用トイレの見学

①7で設置した災害用トイレを保護者等が見学に訪れるので、市職員が案内する。

②自助啓発のため、携帯トイレも展示する。

※携帯トイレは、本来既設のトイレに設置するものだが、自助啓発のため、組立トイレなどに設置することとする。

<p><b>実施結果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの避難所において保護者等による見学を行うことができ、いくつかの避難所においては、携帯トイレも設置して説明を行った。</li> <li>一部の学校では、校内アナウンスや職員の声掛けにより、多くの保護者等が見学できた。</li> <li>一部の学校では実際に体験してもらい、災害用トイレ（特に組立トイレ）の使用方法を周知したが、使いづらさを知る機会にもなった。</li> </ul>
<p><b>主な課題</b></p>	<p>⇒雨天のため、保護者が見学しにくい場所にトイレを設置せざるを得なかった状況もあるが、より多くの保護者等が見学できるよう、学校内での周知も必要。</p> <p>⇒第一小学校では、組立トイレが格納されておらず、急遽、総合防災安全課の職員に届けてもらった。</p>

## 9 震災時対応シミュレーション想定地震発生による通信訓練

①午前 11 時 24 分に、震災時対応シミュレーションによる想定地震が発生。これにより、午前 11 時 30 分頃に初動要員が自宅から避難所に到着したものと想定して、初動要員が集合。

②体育館の放送室又は講師控室に行き、デジタル防災行政無線（又は職員室・事務室にある PHS 電話機）で、避難所運営本部（教育総務課）に現着報告

<p><b>実施結果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての避難所において初動要員による避難所運営本部への現着想定報告はできたが、混線していたこともあり、一部の避難所においてはデジタル防災行政無線機による通信ができなかった。</li> <li>一部の避難所では、デジタル防災行政無線の設置場所が体育館の放送室等で分かりづらく、また、設置場所が施錠されている場所もあり、通信までに時間がかかったところもあった。</li> </ul> <p><b>【デジタル防災行政無線使用：28 カ所 PHS 使用：1 カ所】</b></p>
<p><b>主な課題</b></p>	<p>⇒避難所運営本部に設置されている無線機が 2 台しかなかったため、つながりづらかった。</p> <p>⇒初動要員がいない避難所もあったため、避難所担当職員による通信訓練も必要</p> <p>⇒デジタル防災行政無線の設置場所の周知や初動要員が鍵を配布することが必要</p>

## 10 統一テーマ(トイレ設置)訓練(本番)

## ※「避難所におけるトイレの確保・管理 市職員実施要領」に基づき行動

- ①統一テーマ訓練を行う際、教職員・地域の方・保護者への声掛けのうえ、参集
- ②集合した方々へ災害時に使用できるトイレの種類と特徴等を説明し、問題意識の共有を図る。
- ③参加者全員で、実際にトイレを設置
- ④片付け
- ⑤訓練の振り返り（意見交換）をすることで、課題を共有（反省会の実施）

実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての避難所において、統一テーマ（トイレ設置）訓練を実施できた。</li> <li>・約半数の避難所において、地域や学校教職員、生徒など多くの参加者を得て、訓練を行うことができた。</li> <li>・地区協議会による独自の訓練があるため、市職員のみで訓練を行う避難所があった。</li> </ul>
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒マンホールトイレや組立トイレの詳細な使用方法の周知が必要</li> <li>⇒組立トイレやマンホールトイレの数を増やすことが必要</li> <li>⇒マンホールトイレのテントが固定できず、使用に不安を感じる。</li> <li>⇒要支援者が介助者と組立トイレを使用する場合、介助者がトイレ内に入れず、用を足せないなど、要支援者が組立トイレを使用する場合、相当な困難がある。</li> </ul>

## 11 訓練終了

## ・各校の訓練終了時刻

実施結果	・12時～12時59分	2校（小学校2校）
	・13時～13時59分	4校（小学校3校，中学校1校）
	・14時～14時59分	14校（小学校8校，中学校5校，大町）
	・15時～15時59分	7校（小学校5校，中学校2校）
	・16時～16時59分	2校（小学校2校）

## 12 総括

防災教育の日全般を通じて気が付いたこと、改善点など（抜粋）

【視点】

- ・市職員主導の統一テーマ「避難所におけるトイレの確保・管理」を通して、避難所のトイレに係る課題を地域住民や学校教職員等と共有することができたか
- ・防災教育の日を通じて、児童・生徒は、命の尊さ、生きていく大切さを学び、大規模災害を生き抜くことができるよう、一人一人が情報を得て、自ら判断・決断し、行動をする力を備えるような事業として機能しているか
- ・市民の防災意識を向上させるために、防災教育の日により市職員・学校・地域はどういった取組みを行うべきか
- ・市職員に必要だと思われる点、改善すべき点等

（全般）

- ・昨年要望や要請したことが、改善されていない場合は、訓練を実施しても意味がないのではないか。
- ・防災教育の日を実施する大きな意義の一つは、地域の方々と市の職員が連携し、避難所開設訓練を行うことで、信頼関係を醸成していくことにあると思う。そうした意味では、リーダーは初動要員の中から任命した方が、地域との繋がりをより強固なものにできるのではないか。
- ・防災教育の日をとおして、児童は命の尊さ、生きていく大切さを学んだと思う。
- ・防災教育の日は、学校での取組や地域での取組がある程度浸透してきており、今後はさらなる定着と児童・生徒の保護者以外の地域の方の参加をどのように地域と連携してつなげていくかが課題であると感じた。
- ・今回は 10 連休の初日ということもあり、参加状況を心配していたが、地域の方などに参加いただいた。
- ・全体の最後の話の場面で、市職員一人一人から東日本大震災から感じたこと、体験した事を基に、災害に対する話をさせていただいたことは、地域住民にもわかりやすく伝わり、今後起こりうる災害に向け、意識の向上ができたと感じた。
- ・トイレ設置訓練まで終わった後、保護者等の災害用トイレの見学が無かったことなどもあり、少し時間を持て余してしまった。訓練開始時刻、訓練スケジュール及び訓練内容など、見直す必要を感じた。
- ・曜日や時間帯を変えて訓練を実施すると、新たな課題の発見に繋がるのではないかと考えた。
- ・課題として午前の訓練から午後の訓練まで時間が空いてしまうことが指摘されていた来年は工夫したほうがよいと思う。

（学校の取組について）

- ・今回は、一部雨バージョンの実施をしたことで、室内での引き渡しがなかなか困難であることが判明した。
- ・命の授業について、全学年の参観はできなかったが、1年生は地震が起きたらどう身を守るか、3年生は、防災食について、5年生は、地震が起きたとき、教室にいた場合、外にいた場合、家にいた場合のそれぞれの場合について、どう行動すればいいのか等、学年に応じた内容を実施していた。
- ・保護者の方も参観しており、児童・生徒だけでなく保護者の方も含め防災意識の向上に寄与していると感じた。地区協議会を中心とした地域の方も、朝から家庭科室でアルファ米の炊き出しを行い、体育館での三角巾を使用した応急処置とアルファ米の炊き出しの実演後は、参加者にアルファ米を配布するなど今年度も主体的に活動されていた。



<p>(学校の取組について)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招いての、防災講話（被災地に学ぶ家庭でできる備え）やトイレワーク（減災ラボ）では、「食べることと出すことはセットで考えなくてはならない。」、「カセットボンベ1本で4人前トン汁6回分」など、災害時の備えとして役立つ情報を教えていただいたり、トイレが使用できない場合のビニールや新聞紙等を使用した対処法を体験することができた。本取組は、防災に関する意識をかなり向上させることができる内容あると感じた。</li> <li>・訓練の合間に、体育館で開催された東京消防庁の講話と、震災 DVD「君の命を守りたい」の視聴を、地域住民と一緒に市職員全員で参加させていただいた。わかりやすい内容であったため、東京で災害が起きた前提の内容で、過去の大災害の悲惨さと、何を学んだかという点は、参加者に多くの共感が生まれた。</li> <li>・「命」の授業での講演は、児童も神妙に聞き入る内容と語りで、東日本大震災での教訓を、全国民が共有しなければならないことを、児童も学ぶことができたと思う。</li> <li>・震災を体験した教員による指導もあり、生徒会が中心となって自発的な活動を行っている。特に、赤十字との会合に出席し、携帯トイレの作成方法を学び、今回の防災教育の日でも、生徒自身が作成に取り組んでいた。赤十字より携帯トイレを作成するキットを500セット受領しており、非常に良い取組と感じた。</li> </ul>
<p>(訓練内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、実施を重ねていく中では、「雨の場合」「体育館が（危険で）使えない場合」などの設定で実施してみることも必要か。</li> <li>・統一テーマである避難所のトイレに係る課題に参加した地域住民や学校教職員等と共有することができた。トイレ以外の訓練を行いたいという声があった。</li> <li>・午前中の訓練内容としては、避難所担当職員、初動要員が多く手持ちぶさたになって、緊張感に欠ける場面が散見した。時間外勤務の関係から、初動要員を朝から参加させていると推測するが、発災時刻からどの程度の時間で初動要員が避難時に到着できるかなどの試みや他の訓練を実施することで緊張感を持たせることが必要と感じた。</li> <li>・今回の訓練の参加について、多くの地域の方々が参加していたし、積極的に訓練に携っていた。しかしながら、若い世代の参加者が少ないとの印象が残った。取組を安定的に継続していくためには、若い世代の参加や地元の事業者の参加なども検討が必要だと感じた。</li> <li>・昨年は学校での講話が実体験を通しての避難所のトイレの実情と大切なことを含めて話があったが、今年度は特に避難所トイレに触れられることはなかったこと、雨天であったことからトイレの組み立て、設置場所に制限があったことなどから、その存在は紹介できたがなかなか課題に触れることができなかった。</li> <li>・地区協議会の方が熱心であることから、いつも多くの方の出席者があるがこの訓練（スタンプラリーの中のトイレ設置と紹介）だけであると、なかなか具体が保護者等に浸透していかないように感じる。</li> <li>・学校により訓練参加者の偏りが大きい訓練内容が変更される場合は、内容により工夫する必要があると思う。</li> <li>・今回の滝坂小では、消防車や起振車の配置があった。雨で校庭への侵入を避けたため、車両が校庭への通路を塞いでしまい、マンホールトイレの設置等の訓練を行うことができない状況となった。</li> <li>・昇降口も狭く、雨を避けての代替の場所の検討も困難であった。</li> <li>・他の学校で、同様な状況の場合に、訓練が行えたのか、行えた場合はどのように実施することができたのか、今後のために共有させていただきたい。</li> </ul>

(訓練内容)

- 全般にわたって、避難所担当職員リーダーからの指示が不十分であり、事前準備も含めて図書館分館の職員を配置したことに無理があったのではないかと感じた。
- 全体的な流れの中では、かなり時間を持て余してしまっている感が否めなかった。また、職員同士の私語も多すぎるように感じた。避難所担当職員の配置について、学区内の保育園の保育士2名が配置されていたため、児童やその保護者と立ち話をしている場面が度々あり、訓練中であることを加味するとあまりよろしくないと思われるので、職員の配置に当たっては配慮する必要があると感じた。
- 教職員からはトイレの設営方法を習得してはいるが、児童・生徒がいた場合には、トイレ設営等の避難所運営にどこまで関わられるか不安に感じている様子があった。
- 防災教育の日の訓練時以外でも、備蓄倉庫の中身は確認すべきではないか。年1回の確認ではなく、個別に期限等も含めて、物資の在庫を確認すべきではないか。
- 防災訓練をするのであれば、各自がヘルメットや軍手、最低限必要な飲料水等をリュックに入れ持参しないと訓練にならない。
- 地区協議会が主体となり、教員や地域住民を巻き込んだ取組を実施しているため、市の統一テーマ(教職員・住民によるトイレの組立)を実施してもらうことは困難であった。しかしながら、多摩川小学校で実施された独自の取組は、防災意識の向上、地域の間関係の醸成、家庭における防災への備えに関して好影響をもたらす取組であると感じた。
- 防災まち歩きは、①災害時のまちのイメージを持つ、②地域の仲間づくり、③まちを守る意識を高めることを目的として実施されており、市職員・学校・地域と連携した防災意識の向上につながる貴重な取組であると感じた。まち歩き後には、参加児童にも感想をのべてもらっており、大変有意義な体験になったと思う。一方、天候が悪く、多くの方に参加いただけなかったのは残念であった。
- 市の職員は、マンホールトイレの設置などの作業を熱心に行っていたが、もっと地域の方を巻き込んで、協働で作業を行なうことができるとなお良いのではないか。
- 地域の担当の方から、「とてもスムーズに行うことができ良かった。」との意見をいただいた。
- 市職員主導の統一テーマ「避難所におけるトイレの確保・管理」を通して、避難所のトイレに係る課題を意識の高い地域住民や学校教職員等と共有することができたと認識する。
- 訓練を円滑に実施するためには、リーダーとなる市職員に事前の丁寧な説明と情報提供が必要であると感じた。特に、学校との事前調整に必要な情報が皆無であった。
- 訓練内容であるトイレの設置については、実際のトイレの組み立てを行っていただき、有意義なものであった。
- トイレの確保・管理については、現実問題として多くの関心があり、設置に対する意見や、実際に使用した場合の疑問点や、マナーの問題など多岐に亘り話し合えた。
- 統一テーマについては、市職員と地域住民が協力して実施でき、次回以降も継続できると感じた。
- 学校職員は、用務員(市職員)以外は、引き取り訓練終了後によろやく避難所訓練に参加でき、その時点からの共同作業となった。
- 避難所訓練では、市職員も地域住民と一体となって設営から片付けまで行うこと

## (訓練内容)

- ができ、地区協議会メンバーからは感謝の言葉をいただいた。
- 防災教育の日当日の避難所訓練運営の代表者と、事前説明会で顔合わせができ、対話できたことは有意義であった。叶うならば、地区協議会等の事前準備（打合せ会、地区協の会合等）に市職員も参加し、顔の見える関係を作っておくと、訓練自体がより一層効果的なものになる（市職員が全体像をイメージした上での動きができるようになる）と考える。
  - 実際の平日に災害が起きた場合、避難場所として指定されている小中学校の職員がトイレを組み立てることとなると思う。教職員間でトイレの設置場所を決めてもらい、また、組立訓練を年間を通じ複数回実施してほしい。また、防災備蓄倉庫内の備品の把握に努めてもらいたい。
  - 当日は地域住民、中学生、教職員とトイレの組立てを実施した。市職員はあまり手を出さず、助言をしながら完成を見守った。中学生は説明書の読み解きがうまくいかず、なかなか自分たちだけでは組み立てることが出来ず、大人の手助けが必要であった。地域住民も市職員のアドバイスや誘導により組み立てられた。その場で実際にやっても、なかなか長い期間覚えていることは出来ないため、定期的を実施し、設置がスムーズに出来るようにしておくことは大切だと感じた。
  - 組立に参加した中学生は男子生徒のみであった。災害時に実際に使うトイレを、女子生徒にも見てもらいたい旨を伝えたとこ、教職員から、組立ということだったので男子生徒の方が良いかと思いついた。しかし、組み立てること、実物を見ることで災害時の状況を想定できると思うので、次回は女子生徒も参加できるようにしたいとのことだった。
  - 避難所におけるトイレの確保・管理は、避難生活の衛生状況にも直結するので、重要であると認識できたようであった。
  - 地域の参加を促すことが出来れば、もう少し充実した訓練ができると思う。
  - 保護者への参加協力の依頼を行う必要を感じた。
  - 生徒・保護者を対象に、統一テーマである「避難所におけるトイレの確保・管理」に関する説明やマンホールトイレの確認を組み込んで良いのではないかと感じた。
  - 生徒会が積極的に防災に関する取り組みを行っており、体育館内の壁面に、防災に関する独自の調査（校内の危険箇所等）内容等を掲示。また、炊き出し、携帯トイレの作成等について、生徒 40 名以上が参加していた。
  - 各職員が積極的に行動し、より理解が深まるよう、2 班に分けて取り組む等の工夫が必要と感じた。
  - 統一テーマを通し、避難所のトイレに係る課題を地域住民や学校教職員等と共有することができた。
  - 市民の防災意識を向上させるためには、避難所トイレの設置についても、地域住民が主体となって組立訓練するべきだと思った。
  - 市職員主導で統一テーマを避難所のトイレに係る課題を地域住民や学校教職員等と共有することは一定程度できた。ただ、地区協議会は小学校とのかけもちであり、負担が大きいのではないかと感じた。特に国領小地区においては 29 日から「こいのぼり祭り」の準備もあるため、中学校へは顔を出すという域にとどまったように思う。地区協議会の参加を考え、午後 2 時から生徒による訓練となっているのであろうか。集合から 10 時までと事前のトイレ組立訓練後午後 2 時までの時間を持て余していたようである。学校の都合もあると思うが、改善を望みたい。
  - 教職員は生徒指導として訓練を見守っていた。市職員とのコミュニケーションが



<p>(訓練内容)</p>	<p>少なかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレは女性にとって男性よりも切実な問題となる。学校の担当教員に男子・女子（炊き出し訓練）で訓練を分けず、女子生徒にもトイレ設置訓練の機会を提供していただきたいと要望した。</li> <li>・ボランティア生徒が多数参加してくれ、避難所のトイレの重要性等も含め共有することができた。また、意識の高い生徒が多くいることが、避難所運営のカギだと思う。</li> <li>・午後の訓練には生徒会 5 名も参加しトイレや備蓄倉庫を見学していた生徒の意識向上には役立っていると思う。</li> </ul>
<p>(市職員について)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日、何を実施するのか、あまり把握せずに参加している職員もおり、リーダー任せの感は否めなかった。実際に震災が起きた時に自分たちが避難所を担当するという意識をあまり持っていない職員もいた。</li> <li>・今回、市職員の参加で、初動要員に当たっている職員が皆、避難所担当職員として他の学校の訓練に参加しており、染地小への初動要員の参加がなかった。初動要員と避難所担当職員両方が参加できるように割り当てをしていただいた方がよいかと思う。</li> <li>・市職員は、全体の奉仕者として、自らの業務もあるが、有事の際は、市民のために自ら率先した行動をするべきと考える。また、在住職員が少ないことは、地域住民からの指摘もあったので、市役所全体として、真摯に対応すべきと考える。</li> <li>・水防訓練時の新人派遣だけではなく、消防団などの訓練や地元地域住民の避難訓練などにも、積極的に市の職員が携わることで、地元住民への災害に対する職員一人一人の責任能力が、地域と相互に向上できるのではないかと考察する。</li> <li>・市職員において、避難所担当となったものが繰り返し訓練をして着実に運営力をつけることの重要性はわかるが、一方でより多くの職員が災害時の避難所運営に対応できる体制の構築が必要だと思う。たとえば備蓄倉庫の確認とトイレ組立訓練を新人職員研修の一環としてはどうだろうか。</li> <li>・本日参加した職員は経験を積んだ方が多いが、災害時には全職員が対応できなければならないので、対応スキルの底上げが必要と感じた。</li> </ul>
<p>(地域住民への周知)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の訓練への地域住民の参加は、午前中おやじの会、午後は自治会の方たちが参加いただいたが、両会の方々も実際に避難所を開設運営するとなった際の自分たちの役割を認識していない感じであったので、もう少し事前に訓練の意義や目的等について丁寧な説明をしておいた方がよかったと感じた。</li> </ul>
<p>(要支援者等について)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区協議会の方は、要支援者の対応に関するマニュアルに無いためとまどっていた。</li> <li>・校舎利用計画において、障害者用の避難所は一ヶ所ではなく状況が異なる身体障害者・精神障害者・知的障害者ごとに各避難所を設置するべきではないか。</li> </ul>
<p>(資器材等の補給、通信訓練時の要望など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備品に、感染症（ノロなど）対策用で「消毒液」「使い捨てゴム手袋」「ブラ袋」「サランラップ」を昨年も強く要望したが、今年も要望した物は備品に追加されていないのはどうか</li> <li>・避難所分のヘルメットがなかった。一番必要ではないか。</li> <li>・チャッカマンがあった方が良いのではないか。</li> <li>・備蓄倉庫は、市の職員が来るまで開けられないため、ヘルメットと軍手とオノくらはいは体育館内に設置しておくのはどうか</li> <li>・バンドエイドは 6 箱あったが、養護室にある備蓄の方が多い。6 箱では少ないため増やしてほしい。</li> </ul>



(資器材等の補給, 通信訓練時の要望など)

- 備蓄品は、消費期限が近い食品類についてはフードバンクに出すなど、常に期限の長いものを置くべきではないか。
- 新しい体育館に入場するためのセコムカードは旧体育館のカードを引き続き利用できるが、新体育館内の管理室（デジタル無線あり）等に入るための2種類の鍵を持っていない。
- 現在使用可能か不明な鍵や用途先が不明な鍵があった。
- 体育館内のデジタル防災行政無線の場所は、具体的にどこにあるのか図面で明確にしておく必要がある、また、操作方法も併せて一緒に備え付けておくことが望ましい。
- 防災に積極的な地区協は備蓄品を独自で購入している場合があるので、それらと市の備蓄品の管理方法について整理しておく必要がある。
- マンホールトイレ固定用のアンカーをアスファルト面に何らかの方法で取り付ける必要がある。
- 防災倉庫は2基設置され、倉庫内のスペースには比較的余裕があるので、備蓄品について整理整頓の必要性を感じた。地区協とも連携しながら改善の余地があると思われる。
- 隣接する若葉小学校と第四中学校の合同の避難所運営マニュアルが作成されているが、デジタル防災行政無線の設置場所について記載がなかったので、マニュアルの改訂が必要だと感じた。
- 昨年までは MCA 無線機にて通信していたが、デジタル防災行政無線はマニュアルがなくても操作ができ、震災の際はスムーズに本部に連絡ができるとか感じた。
- 備蓄倉庫の扉に備蓄品所在一覧と配置図があったが、平成 26 年 10 月現在のためであったため、定期的な確認と一覧表の更新を行った方が良いと感じた。
- 食物アレルギー児童対策用のピブスがあることを事前に周知説明すべき。
- 一度、防災井戸がなくなったため、早めの復旧を希望。
- 五中防災会から配布された避難所運営マニュアル（H27 年更新）とライブラリ掲載の同マニュアル（H26 年更新）の内容に差があった。ライブラリ掲載のマニュアルの早期更新を希望。
- 2年目の訓練で、初めてマンホールトイレの排水弁を開閉するレバーを今回の訓練中によりやく発見。当レバーは昨年訓練時には入場不可だった新しい体育館の備蓄倉庫の中に保管されていた。体育館施設の引き渡しの時の引き継ぎが円滑になされていなかったと想像するが、学校側と行政側での意思疎通が不足だったと認識した。
- 防災備蓄倉庫の扉の位置が不便と感じた。（片方は樹木に阻まれてリアカーが通行不可。他方向はバックネットのワイヤーのためリアカー通行だけでなく人力による搬入通路も狭くなっている。
- 防災備蓄倉庫内の照明用ランプの電池が液漏れしており、点灯不可となっている。早急に電池補充を願いたい。

## 2-2 保護者アンケート実施結果

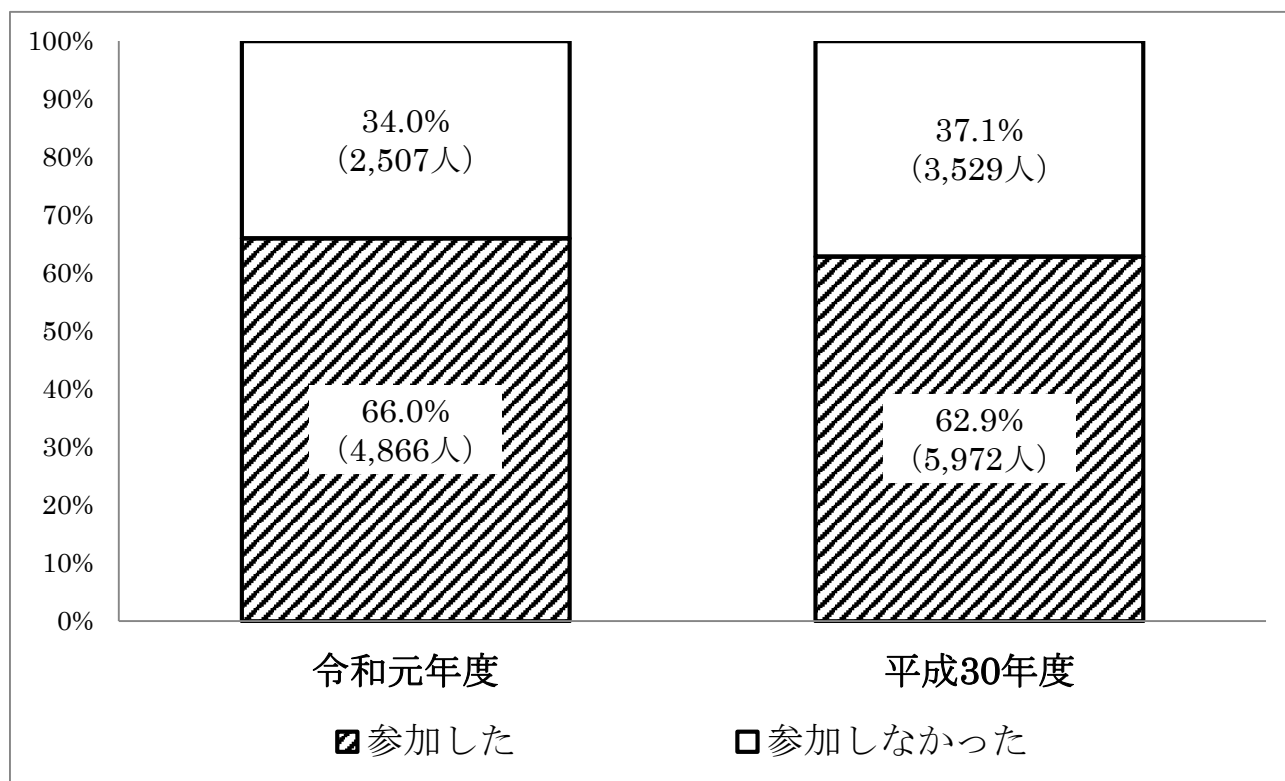
学校安全・安心メールの「アンケート機能」を用いて、登録している保護者に対し、調布市防災教育の日に係るアンケートを実施しました。

### ◆アンケート結果

メール配信日時	平成31年4月27日（土）午後5時00分 （5月4日、11日に未回答者に再送）
メール配信対象者	市立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者（メール登録済みの方）
メール配信者数	15,623人
回答者数	7,373人（回答率 47.36%、昨年度比2,128人の減）

設問1は必須、それ以外の設問は任意の回答として設定したため、各設問の回答人数は一致していません。なお、当日の保護者の参加人数は13,616人となっており、本アンケートの回答者数は、全参加者の約70%に当たります。

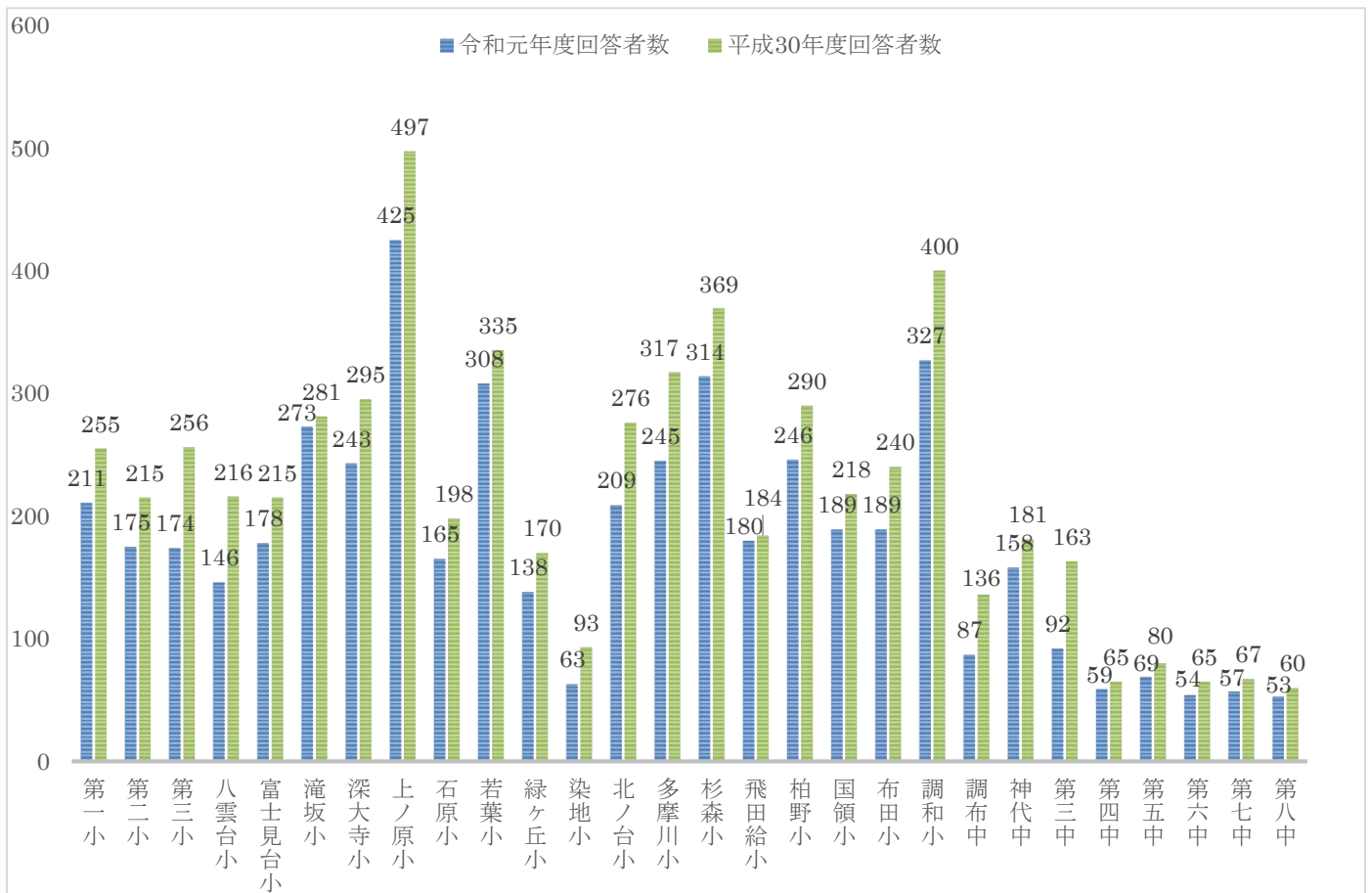
### ●設問1：平成31年度「調布市防災教育の日」に参加されましたか。（回答人数：7,373人）



アンケートに回答した保護者のうち、4,866人（66.0%）の方が防災教育の日に「参加した」と回答しました。

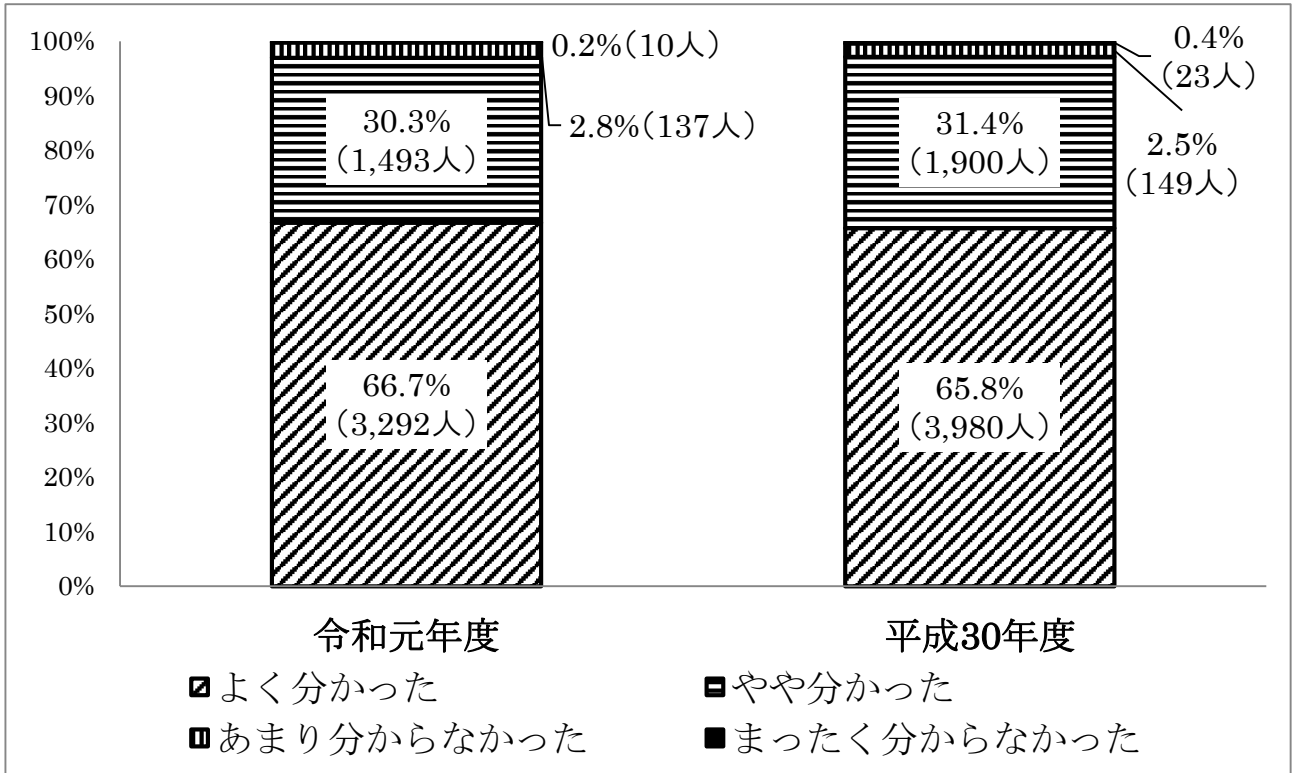
●設問2: 参加した学校名を教えてください。(回答者数:5,027人)

【複数校の場合は、メインに参加した学校を選択】



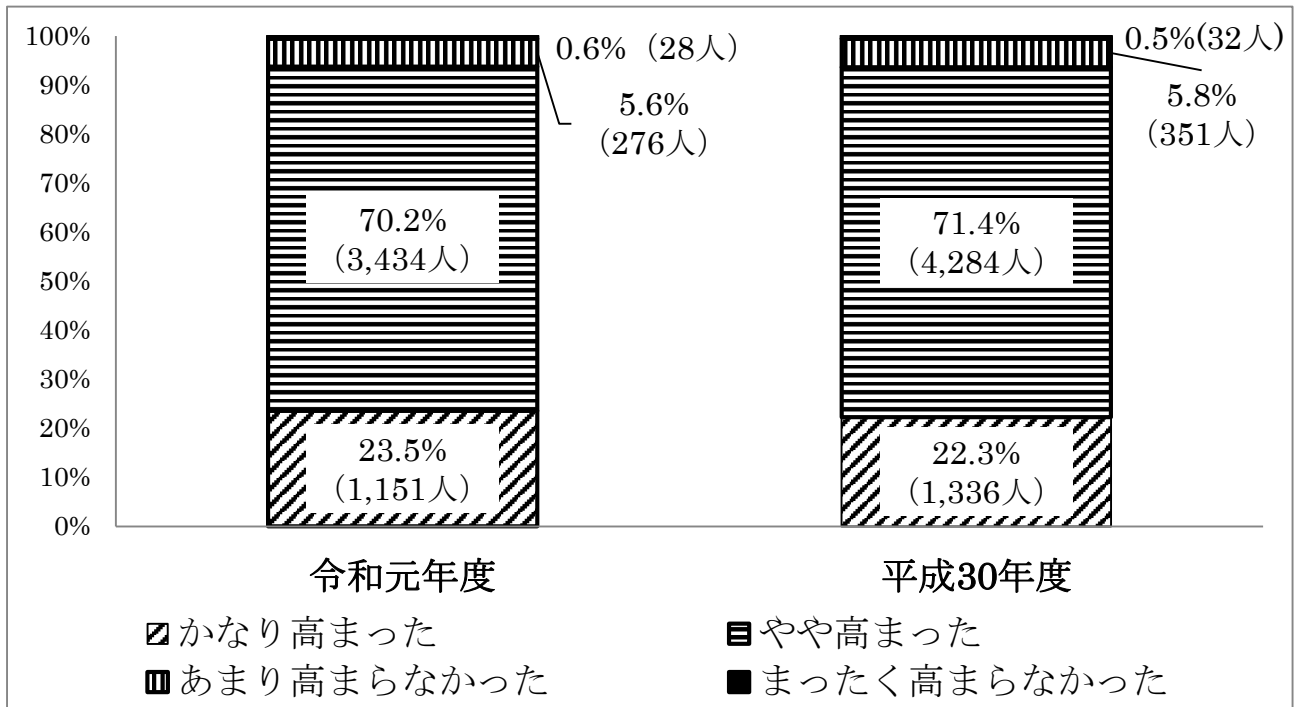
昨年に引き続き、上ノ原小学校、杉森小学校、調和小学校の3校に参加したと回答した保護者が多くなっています。中学校より小学校に参加した保護者からの回答が多くなっています。

●設問3:「防災教育の日」の趣旨やねらいはよく分かった。(回答者数:4,932人)



「よく分かった」又は「やや分かった」と回答した保護者数は、全体の約97%に当たる4,785人となりました。

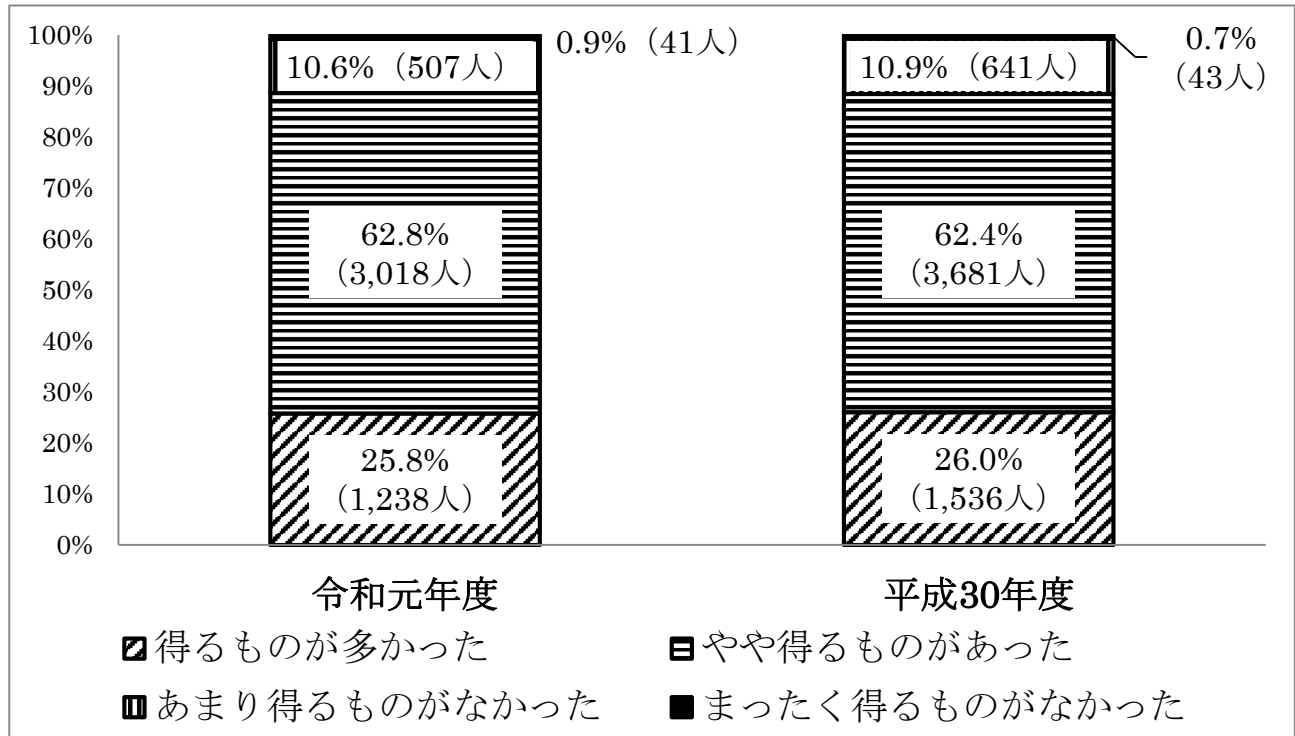
●設問4:防災に関する意識が高まった。(回答者数:4,889人)



「かなり高まった」又は「やや高まった」と回答した保護者数は、全体の約93.7%に当たる4,585人となりました。



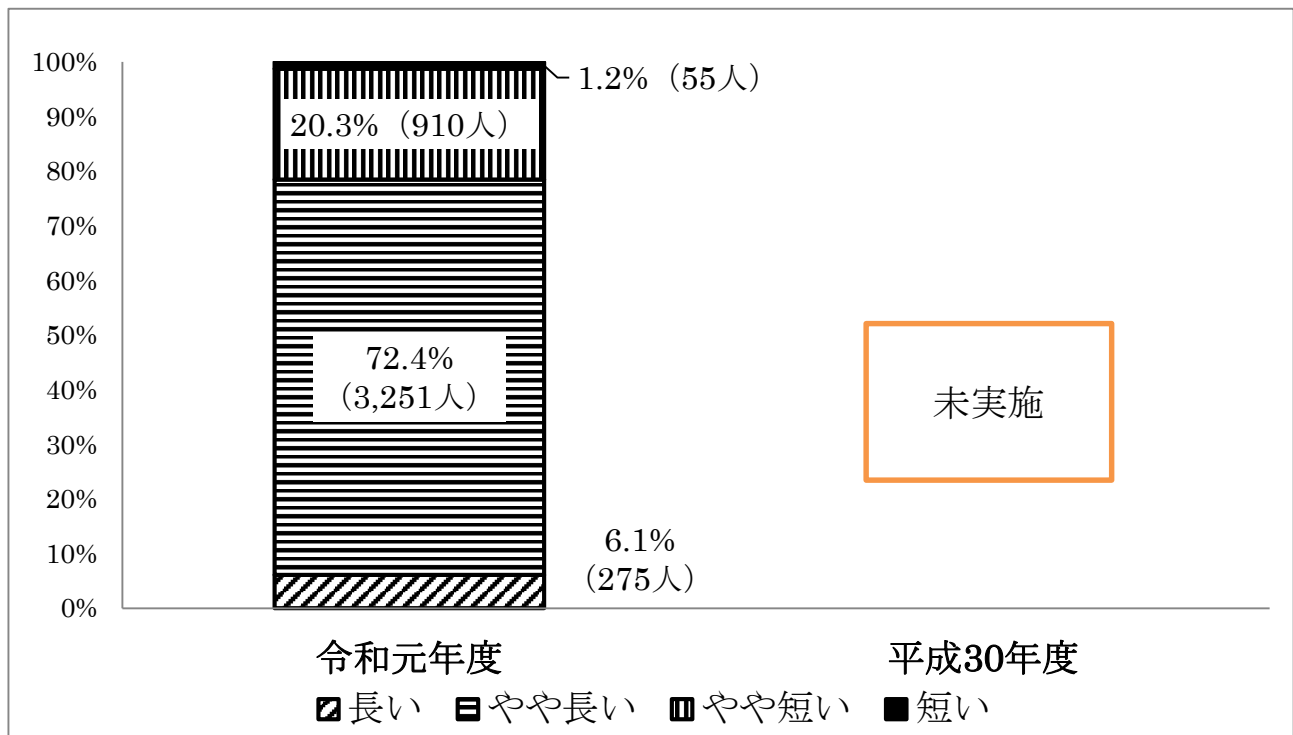
●設問5: 防災に関する知識や技能, 防災教育への理解など, 得るものが多かった。(回答者数: 4,804人)



「得るものが多かった」又は「やや得るものがあった」と回答した保護者数は、全体の約88.6%に当たる4,256人となりました。

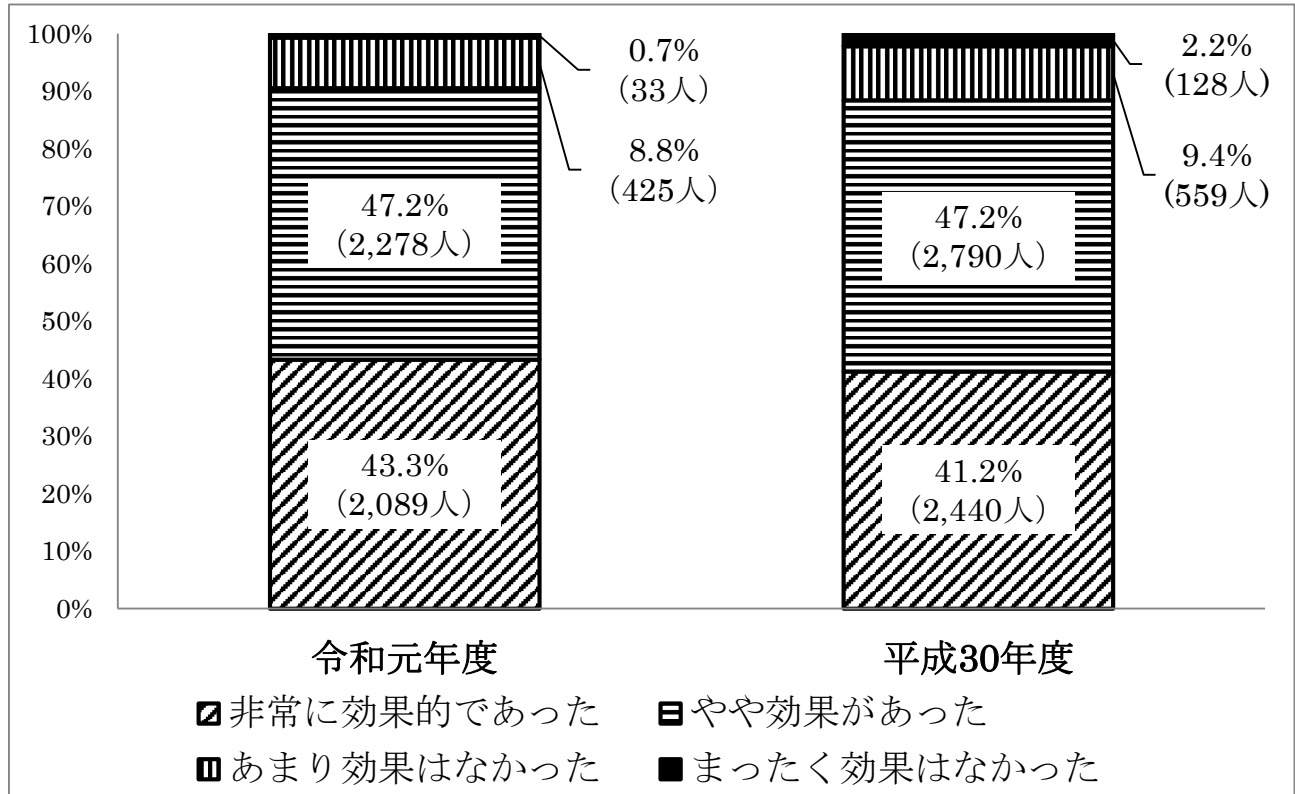
●設問6: 「防災教育の日」全体の訓練時間はいかがでしたか。(回答者数: 4,491人)

(令和元年度新規設問)



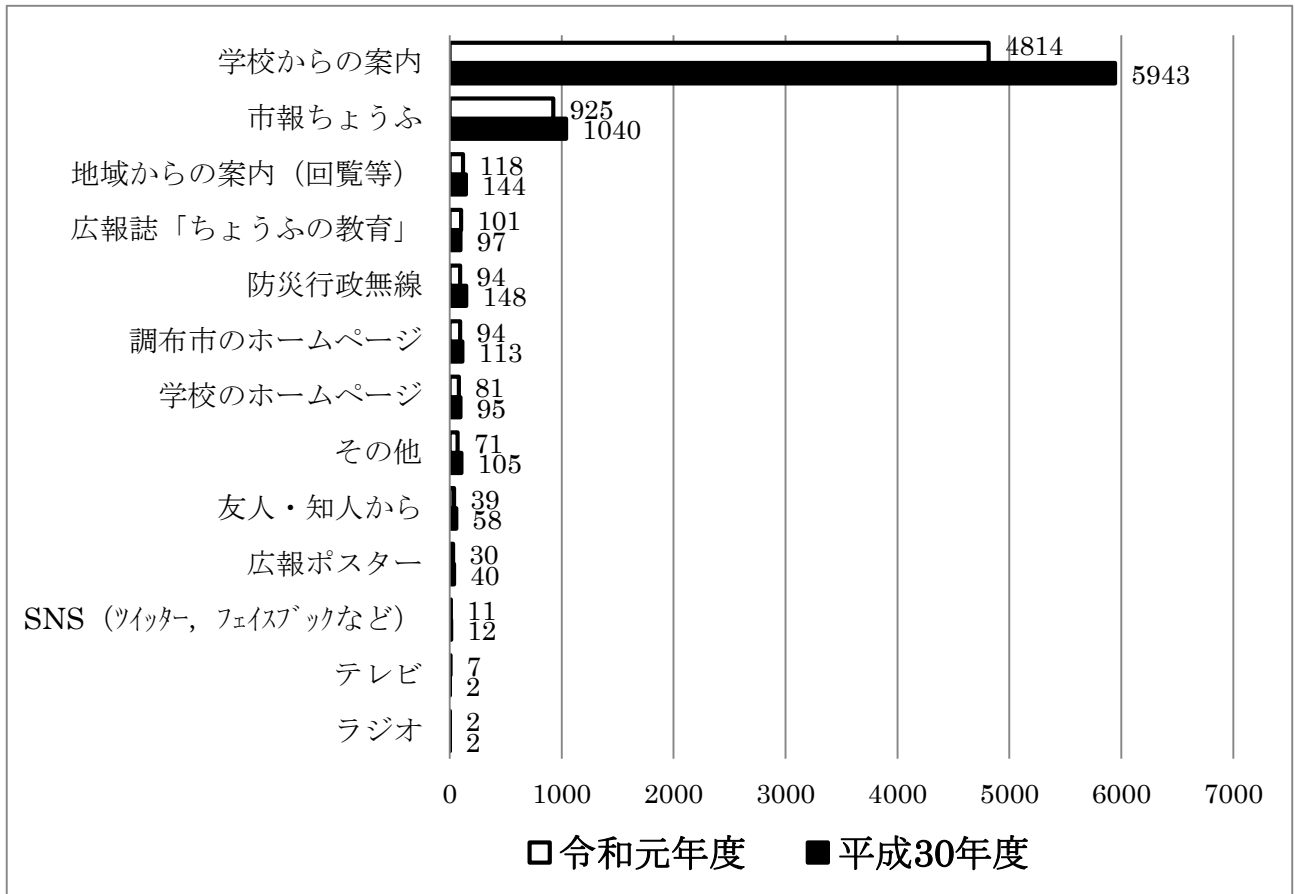
今年度の新たな設問ですが、訓練時間を「長い」又は「やや長い」と回答した保護者数は、全体の約78.5%に当たる3,526人となりました。

●設問7: 訓練での学校安全・安心メールの活用は効果的であった。(回答者数:4,825人)



訓練での学校安全・安心メールの活用について、全体の90.5%に当たる4,367人の保護者が「非常に効果的であった」「やや効果があった」と回答しました。

●設問8: 「防災教育の日」は何でお知りになりましたか。(回答人数:5,000人 総回答数:6,387人)



総回答数のうち、4,814人（75.4%）が「学校からの案内」で防災教育の日を知ったと回答しました。

▼広報用ポスター



▼市報ちょうふ（平成31年4月20号）



●自由回答(抜粋)

アンケートの自由回答の抜粋(回答者数:469人)

肯定的な御意見

○全般

- 毎年、いい取り組みで意識が高まります。
- 年に一回このような日があり防災について親も子も振り返ることが出来とても良い機会になっています。引き渡し訓練では実際に親が迎えに行くことでシミュレーションができ、もし災害が起こった時も子ども達が安心して待っていられると思います。今後も4月の最終土曜日は調布市防災教育の日として実施していただきたいと思います。
- 土曜日に実施してもらえ参加しやすい。
- 訓練は、積み重ねだと思えます。このように定期的に親も巻き込む事は、続けるべきだと思います。
- 新年度早々に行うこと、大変意義があると思えます。継続を望みます。
- 天災はいつやって来るかわからないので、訓練等、日頃から防災に対する意識を高めておく必要があることを再認識しました。「防災教育の日」のような機会があると、引き渡し訓練ができたり、買って安心してしまっている防災用品、備蓄品を見直すよきっかけにもなると思います。命を守る大切な教育だと思いますので、これからも継続開催を希望します。
- なかなか防災について家庭で話をするのは難しく、避難場所くらいしか話題にしてこなかったため、今回は保護者としていうよりも、子供たちが自分たちで万が一の時を想像して考え

るという取り組みが良いと思いました。

- 災害への備えは、都度機会を設けないと忘れてしまうため、市全体として取り組む姿勢は評価したいこと。震災を経験していない、子供たちへの啓蒙活動は続けるべき。
- 防災に関する教育は、自分で自分の身を守るためにも必要だと思いますので、今後の継続を希望します。
- 年に何度か普段とは違った防災訓練(消防の方に来ていただく、実際に機材を使用するなど)をしていただくのは子供たちが何かを感じたり、知ったりする事が出来るのでありがたいとおもいます。また、親も改めて考えたり、新たな事を教えていただいたりと親子で考えたり確認したりのきっかけになりました。
- 学校内でしっかり子供たちに教えてくださって有りがたく思いました。災害の怖さを知り理解してもらい、いざというときに活用してくれたらいいなと思います。
- 災害はいつ起こるかわからないし、時間とともに警戒心が薄れてきます。でも、毎年地震のことを思い出させていただくことで、防災への意識が高まります。
- 毎年、防災教育の日が有り家族で話すきっかけに成りこれからも続けて欲しいと思います。
- 毎年訓練して下さるので、親も非常時にどの手順でお迎えに行くのか復習できて良いです。
- いつか来る地震への備えはとても大切だと思います。
- やはり、地域での防災が大切だと感じました。
- 日常に忙殺されて、つい一ヶ月前の3.11で湧いた防災意識を忘れてしまいそうになりかけているところに一石投じる大事な機会だと毎年思います。
- 家での防災グッズを毎年この学校の防災の日に点検しているので、有り難い行いだと感じています。災害がないと、ついつい油断して災害の備えを怠ってしまいそうなので、防災センターの人の話を聞き、意識を高めたいです。いつも有難うございます。
- 土日に防災訓練してもらえると、助かります。
- 訓練時間はちょうど良かったです。

○「命」の授業、防災講話

- 自助と公助をわかりやすく教えてくれて防災について意識が深まった。
- 初めて、消防の方のお話を聞きました。実際に経験されているので質問にも的確に答えてくださり有意義な時間になりました。
- 講演会で大学生の10歳の頃の被災体験を通したお話とメッセージがとても心に残りました。
- 八雲台の講演で東日本大震災の被災者の生の声が聞けて本当に良かったです。子供の心の動きが、聞かなければ分からない事ばかりで為になりました！
- 講演について、被災した体験をもとに、報道などでは知り得なかった子供達の生活に驚いた。また、被災を一括りで考えがちだが、個人ごとに被災体験は多様であり、それぞれに合わせたケアが必要なのだと感じた。そのため、親は被災した際には、子供の行動、心の変化を読み取る努力がより一層必要と意識が高まった。



- 保護者向けの講話に参加しました。毎年参加していますが、今年は本当に参加して良かった！と思いました。もっとたくさんの保護者に聞いてもらいたかったです。
- 防災講演会の内容がとてもためになった。人間は忘れやすいから、繰り返すことが大事なんだということがよくわかった。安全衛生3原則なども参考になった。
- 授業の中で、いざという時どうするか、子ども達に考えさせる時間を設けていただき、保護者としても防災意識が高まりました。
- 子供が参加することで親の方が刺激を受けました。子供から教わることができました。ありがとうございました。
- 映像も小さい子にもわかりやすく良かったと思います。
- 定期的に意識を高めるために、知識を入れていきたいと思いました。
- 四中では今年合唱部の生徒が「群青」を歌ってくれました。歌詞を聞いて、涙が出てきました。防災への意識を高めるのに、身近な子たちが心を込めて歌うのを聞くのは、とても効果があるのではないかと思います。
- 鈴木先生のお話がとても良かったです。
- 午後の避難所体験ゲームが良かったです。
- 高学年の授業は低学年の頃より実践的になっており、意識を高めたと思う。
- 先生の熱意が伝わりました。
- 短時間で一部の体験ができたので、今後も、経験を積むために参加してみたいと思いました。我が家の装備はなっていない。食料と水を含めてちゃんとしなくては、と思った。
- 子供たちが、地震の時にどういう場所が危険かを真剣に考えていたので、今後の生活で役に立つと思います。いい授業でした。
- 子どもたちは私語をせず真剣に取り組んでいた。
- 小学校に入り、初めての訓練でした。消防職員さんの話をきき、DVDを観て、備えに対しての意識が高まり、命に関わる、とても大切なことが学べる機会となりました。
- 大人の押し付けではなく、生徒の発表という形で防災意識を高める方法は良かったと思います。

#### ○避難訓練、引き渡し訓練

- 効率よく引き渡しができるよかったです。
- 調布中の体育館での引き渡し訓練、スムーズで良かったです！

#### ○避難所運営訓練

- 初めて参加致しました。調布市全体で防災教育に取り組む活動は、とても良いと思いました。市の職員さん、地域、保護者、子供達、学校と一体で役割を持つ事は大切だと思います。マンホールトイレの設置を体験しましたが、実際行うのと聞いたり、見たりする事では、全く違いました。実際の災害時は生きている一人一人が知恵を出し合い、生きていくためのお互

いの声掛けや協力を行い、チームワークを発揮して自助、共助、公助を上手く繋げていかなければいけないですね。実際の災害時は、地域に高齢者や子供達が中心になるので、女性の活躍も多いと思いました。今後も防災教育、防災訓練を続けていってください。

●減災アクションカードゲームを家庭や学校でもやりたいです。

#### 問題点・課題等を指摘する御意見

「2-5 今年度の主な課題と次年度の対応案」(→P.50~58)に掲載しています。

いただいた自由意見においては、調布市防災教育の日に賛同される御意見のほかには、主に「実施日」「引渡訓練の手法」「実施時期」「訓練全体の実効性」「保護者の緊張感」「学校安全・安心メールの配信方法」「授業・訓練内容」などに関する御意見を多くいただきました。

訓練の実効性を高め、保護者の皆さまにとって有意義な事業となるよう、内容を精査し、次年度の取組に生かしてまいります。

## 2-3 地区協議会アンケート実施結果

避難所運営訓練等に全面的に御協力いただいている16の地区協議会に対して行ったアンケートの結果を紹介します。

### ●設問1 防災教育の日当日の参加状況について

#### (1) 地区協議会としての参加状況について

- 地区協議会が主体的に訓練を実施した 2地区
- 学校の計画に基づいた協力をした 12地区
- 地区協議会としては参加していない 0地区
- その他 3地区

#### 【その他の内容】

- 学校と地区協で話し合いの上、今回必要なことを決めた。
- 学校の計画と地区協議会の「避難所開設訓練」を同等の立場として互いに協力して実施。

#### (2) 地区協議会メンバーの参加人数

- ~10人 6地区
- ~20人 4地区
- ~30人 3地区
- 30人以上 3地区

### ●設問2 市職員との事前打ち合わせについて

#### (1) 事前打ち合わせの必要性について

- 必要 10地区
- 不要 6地区

#### (2) 打ち合わせの際に、話し合うべき内容について

- 災害時に本当に役に立つ統一訓練
- 当日の具体的なスケジュール
- 進行の仕方と内容を共有する。
- 市の職員が何を行うのか、地区協は何を行うのかの確認。リーダーは誰なのか、当日は誰が来るのか、時間はなど。
- 当日の具体的な進行について
- 何をどのように実施するのか、参加者の要望は何か？
- 集合時刻、場所、計画内容、作業分担

- 役割分担の確認
- 地区協議会の計画を事前に理解して上で、この日の流れについて話し合う。
- 地区協は毎年同じ計画で「避難所開設訓練」をするので、どこまで協力できるのかなどを話し合う。
- 年度始めであり、関係者との打合せ（市職員）をしても、地域住民に実施計画等の徹底や参加依頼（回覧等）ができにくい。
- 全体のスケジュールの中で、必要な情報の共有。どこの団体がどの内容をどのように展開するのか。お互いの取組に参加・協力し合う。

(3) 今回の事前打ち合わせについての感想・御意見等

- トイレの組み立ては意味が無い。
- 全体資料が多いため、自分の会関係のページ探しが大変だった。字も小さいので見にくい。個別拡大版を。
- 職員の紹介だけが中心になったのではないか。リーダーがきちんと説明すること。また、会場がお互いにやかましく聞きにくかった。
- 時間が短すぎると思います。
- 特にない（責任者同士の面談で可）。多勢集める必要ない。
- 地区協が主導でないので、負担が少なくて良かったと思う。お互いの内容を確認できてよかった。
- 準備の段階から共有できていたので、当日はスムーズに取組めました。
- 防災教育当日の一週間前ではあまり意味をなさない。地区協の当日の動きを知らせることで調整をしてほしい。
- 昨年も会長が事前打ち合わせに参加したが、市職員の方が当日地区協参加メンバーと会うのでは意思疎通が難しいのではないか。
- 今回は打合せをしませんでした。



### ●設問3 市職員主導の全校統一メニューについて(今回は避難所におけるトイレ確保・管理を実施)

#### (1) 統一メニューの必要性

必要	9地区
不要	7地区

#### (2) 統一メニューの取組に関する御意見等

- 統一テーマがあると国領地域は小学校と中学校があるが、参加する方も対応しやすい。
- 統一テーマは必要と思う。今回マンホールトイレではきちんと確認していないため、身障者トイレの設置の場所が違っていた。また、雨が降ったため屋外トイレの設置が体育館に変更になったが、説明もなく片隅で職員が黙々と組み立てていたため、誰も見ていなかった。
- 市内全校で初動時の避難所の開設（夜間等学校が休み時）を統一する必要性がある。
- それぞれの地区協が計画した「防災教育の日」の「避難所運営訓練」やその他の防災訓練がある。毎回計画統一テーマがあると地区協としての計画を立てにくい。
- トイレは非常時に大変重要な役割となります。毎年同じ人が担当し、同じ人が参加する訳ではないので、統一テーマでも良いと思います。車椅子利用の方、補助が必要な場合についても想定が必要かと思います。
- 地域にて考えて行く方向です。“型取られずに”
- 防災と「子どもの教育」との関係から、その年のテーマを統一的に設定することは良いと思われる。しかし、地域団体から見ればそれにしぼられることには反対が多い。
- 統一テーマと地区に必要な訓練の実施がよい。
- 毎年同じテーマは必要ない。何を行うか事前に協議すべきではないか。
- 特に強制的にということではなく、必要なことならその地区協で考えればよいと思う。
- トイレ問題の重要性は理解できるが訓練の主題に捉えるには難がある。
- 災害時用トイレの種類の説明
- 学校が主体であり、各校の実態や地域の特色を生かした内容が良いと思われる。

#### ●設問4 その他取組全般に関する御意見等

- 防災教育の日は、最初は保護者の引き取り訓練が主な目的でしたが、だんだん色々な防災訓練が付加されてきました。学校の訓練が主体なはずですが、学校の訓練が薄くなって、地域の防災訓練みたいです。地区協の役割も期待されてしまいました。趣旨が違ってきているのではないのでしょうか。また時間も午後までですと、保護者は帰ってしまいますので、訓練は保護者のいる時間内で終わるようにしないとほとんど人がいません。地域の方はほとんど来ていませんので、先生も引き取り訓練のため、参加が難しいため、時間を考えて行った方がいいと思います。
- 防災は地域全体の問題であるのは事実だが、「防災教育の日」は学校「教育」の中で、あくまで一科目として取り組んでほしい。地域住民の参加は理想だが、合体させるのは無理がある。
- 調和小の防災倉庫は他とは違った形で、建物の配管等もあり、間口が狭く出し入れがしにくく、棚なども無いので非常に使いづらい。少なくとも棚を設置してほしい。
- リーダーがだれなのか理解できていない（同じ服着用の為）。初めて会うのでどこまで地区協主体で行うのか、市が主体的に行うのか、地区協委員がわかっていない。
- 他の地域で実施している上級（6年生）を残して、午後の訓練につなげる等、工夫を要する。
- 発災から午後のスタートまで約2時間、住民はやることが無く時間をもてあますので、昼食休憩は終わった後であれば良いのかと思います。
- 中学校・小学校と一緒に避難所運営の取組（近所の自治会を含む）ができればと思います。それらを運営していくためには、運営費用の問題もあると思います。
- ゆくゆくは、小学校と中学校が連携して訓練が行えると良い。街全体も一緒に取組めるように、安否確認ができると理想的。参加しなくても、家の玄関前に黄色の旗を立てたりしていれば、安全ですと伝えられる。SOS旗もあれば有事の際には使えるのではないかと。

## 2-4 前年度の主な課題と今年度の取組状況

調布市防災教育の日は、平成28年度以降、3万人以上の方の協力を得て実施していますが、毎年様々な点において課題を確認しているため、次年度に向け、可能なところから改善を図っています。そこで、平成30年度事業の主な課題を例示し、令和元年度事業における取組状況を示していきます。

平成30年度事業の課題	令和元年度事業の対応
<p>① <b>統一テーマによる訓練の実効性の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用トイレ設置訓練が市職員の訓練場となっていた。</li> <li>・地域住民・保護者等の参加が少ない。</li> </ul>	<p>① <b>統一テーマを昨年度と同様のテーマとし、より多くの方が主体的な訓練を実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民や保護者、学校教職員が訓練できるよう、市職員は、原則として、指導・サポート役に徹しました。</li> <li>・引渡訓練のために学校内で待機する保護者に対し、災害用トイレの見学や体験を実施し、より多くの方への災害用トイレの周知や家庭用携帯トイレ備蓄の啓発を行いました。</li> </ul>
<p>② <b>消防署による保護者向けの啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの保護者が参加しているが、消防署による保護者への啓発の機会が限られている。</li> </ul>	<p>② <b>消防署によるワンポイントアドバイスの実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の講評時には、「7つの問いかけ」と題し、児童・生徒・保護者を対象とした発災時の行動等に関する留意点（ワンポイントアドバイス）を説明していただき、より多くの方への啓発を行いました。</li> </ul>
<p>③ <b>事前打合せの実効性の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から、4月の市職員の事前説明会に地区協議会等の代表者が参加し、事業説明及び事前打合せの場を設けましたが、直前の案内であったため、地区協議会からの参加が少なかった。</li> <li>・派遣管理職の説明の機会を別に設けており、市職員の事前説明会に参加していなかったため、顔合わせができなかった。</li> </ul>	<p>③ <b>地区協議会と市職員の事前打合せの拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の市職員の事前説明会に、地区協議会等の代表者、派遣管理職も参加し、それぞれが事業説明や事前打合せを行う場を設けました。</li> <li>・地区協議会への周知を3月中に行い、多くの地区から出席していただきました。</li> </ul>
<p>④ <b>防災備蓄倉庫の不具合や整理等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、防災備蓄倉庫のドア等の不具合や学校施設の鍵の授受、備蓄品とリストの不整合や整理などについて、学校・地域・市職員から要望があります。</li> </ul>	<p>④ <b>防災備蓄倉庫のメンテナンスを依頼</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備蓄倉庫のドア等の不具合や学校施設の鍵の授受、備蓄品とリストの不整合や整理などについて、総合防災安全課に調整を依頼しました。</li> </ul>

## 2-5 今年度の主な課題と次年度の対応案

令和元年度は、前年度の課題を踏まえ、引き続き全校統一テーマ「避難所におけるトイレの確保・管理」を設定し、避難所運営訓練を実施しました。

全校統一テーマには一定の評価をいただいておりますが、訓練を実施したことによる新たな課題も見えてきました。今年度の主な課題について検討を進め、次年度以降の取組につなげてまいります。

項目	ご意見等	検討の方向性等
全般	防災教育の日が何を柱としどこに軸を置いているのかが分からない。他の地区協議会からも毎年のように言っているが教育委員会からは明確な答えが返ってこない。そして毎年改善されていない。	防災教育の日については、児童・生徒に対する自助・共助意識を身に付けることに加え、地域と一体となった震災対応システムの構築に向けた訓練の実施等、貴重な時間であると捉えています。このため、持続可能かつ実効性ある事業として継続していくため、庁内、地域、関係機関と連携のうえ事業内容の見直しを進めます。
	防災の事に関する教育の日に、授業参観、引き取り、PTA総会と重なっていて、防災の訓練の意識が高まるかなあと考えると、少し薄まってしまっている感じがします。	
	各小・中学校で違いがある中で一律でやろうという想いが強すぎるのでは？	
	午後開始までの空き時間が長いので、次年度以降はもう少しコンパクトにできないか検討したい。	
	授業と防災訓練を分けてるので、親は帰ってしまうし、子どもには良かったと思うが、大人にはあまり効果はなかったような気がします。	
	授業と防災訓練を分けているので、親が帰ってしまう。学校公開授業の合間に時間は決めず、突然行う方が親も参加となるし、より実際の形に近くなり、問題点もまた出てくるような気がします。	
	保護者は引き渡し訓練の参加でしたが、例えば備蓄倉庫内を見学できたり、備蓄品一覧などのリストが配付されたりすると、より安心感が得られると思います。	
	自分は調布市消防団出身なのでもう少し専門的にやっても良いのではないかと考えております。	
	防災訓練は非常に良い事だと思っておりますが、もっと具体的な訓練やご指導が頂ければ良かった。	
	毎年同じ内容を反復する意味もあると思うが、参観する側からすると、せつかなので、同じ内容ではない方がいいと思った。	
	天気の都合で校庭を利用できなかったのが簡易化されてしまったのが残念でしたが、年に一度くらい意識を高める日は必要だと思うのですが、もう少し子供が興味を持って取り組めるような仕組みは欲しいと思いました。	
	消火器の使い方は、毎年、全学年で体験するべきだと思う。	
	地震だけではなく、その他の災害を想定した訓練を実施しても良いのではないか。	
	来年は、中学や近くの幼稚園、保育園と連携した防災訓練をしてみてもどうでしょうか。	
	防災教育の日は、学校での取組や地域での取組がある程度浸透してきており、今後はさらなる定着と児童・生徒の保護者以外の地域の方の参加をどのように地域と連携してつなげていくかが課題である。	
	府中市のように、地震の警告音を市内に流す等した方がもっと訓練への意識が高まると思う。	
	ゴールデンウィークにかかる土曜日に実施は避けて欲しいです。	
	もっと定期的に開催回数を増やすか、少ない中では参加者の真剣味がないと効果は得られないと思います。	
	10連休の初日開催だったが、今年に限って振替休日がなかったのはどうかと思う。	
	私は仕事をしているのですが、防災訓練の日にちが小学校が始まってからじゃないと分からず最初から参加できませんでした。小学校が始まる前からのお知らせがあれば仕事を調整できたと思うので、そういう対応があるとありがたかったです。	
教育委員会からのスケジュール連絡が遅かったため、内容を把握して地域に流す時間がなかった。年度当初という実施時期に無理があるのではないか。		

項目	ご意見等	検討の方向性等
統一テーマ	<p>教職員からはトイレの設置方法を習得してはいるが、児童・生徒がいた場合には、トイレ設営等の避難所運営にどこまで関われるか不安に感じている様子があった。</p> <p>教職員間でトイレの設置場所を決めてもらい、また、組み立ての訓練を年間を通じ複数回実施してほしい。</p> <p>午後の部活動説明会と訓練のトイレ設置が重なってしまうのが残念。</p> <p>生徒・保護者を対象に、統一テーマである「避難所におけるトイレの確保・管理」に関する説明やマンホールトイレの確認を組み込んで良いのではないかと感じた。</p> <p>市民の防災意識を向上させるためには、避難所トイレの設置についても、地域住民が主体となって組立訓練するべきだと思った。</p> <p>マンホールトイレ設置方法を教えていただいたが、参加者が少ないので、普通の授業でやったほうがよいかと思いました。</p> <p>トイレは女性にとって男性よりも切実な問題となる。学校の担当教員に男子・女子（炊き出し訓練）で訓練を分けず、女子生徒にもトイレ設置訓練の機会を提供していただきたいと要望した。</p> <p>マンホールトイレの組立説明書とは別に、トイレトッパーや黒い網状部品の設置及び使用方法が詳しく分かる資料を別途入れて欲しい。</p> <p>トイレの設置の際、説明書が文字が小さく見づらかった。組立て式トイレはとても役立つ大事な物なので、その部分だけ改善を検討していただくとありがたいと思いました。</p> <p>マンホールトイレの設置を体験しましたが、今日行った事を次につなげる方法があるのではないかと思います。説明書や手順は、図式化して分かりやすくできると思いました。</p> <p>仮設トイレの見学ですが、深大寺小学校では端の方でやっていたので、帰ってしまう方々多かったです。</p> <p>体育館にトイレを設置していたが、誰も見ていなかった。統一テーマとして実施しているのであるから、もっと披露できるようにした方が良い。</p> <p>トイレ設置訓練まで終わった後、保護者等の災害用トイレの見学が無かったことなどもあり、少し時間を持て余してしまった。訓練開始時刻、訓練スケジュール及び訓練内容など、見直す必要を感じた。</p> <p>来年は学校と調整のうえ、保護者等が関われるようアナウンスを学校に依頼したい。</p> <p>小学校の保護者である。午前中はアルファ米と三角巾講習に参加し、午後のトイレ設営にも参加した。午後の内容も保護者に参加してもらった方が良いのではないかと感じた。</p>	<p>より参加しやすく、実効性のある訓練について検討します。</p>
	<p>消防車や起震車の配置があった。雨で校庭への侵入を避けたため、車両が校庭への通路を塞いでしまい、マンホールトイレの設置等の訓練を行うことができない状況となった。昇降口も狭く、雨を避けての代替の場所の検討も困難であった。</p> <p>仮設トイレの設置場所について、雨の場合の設置をどうするか。市では、雨の場合は濡らさないように指示が出ているが、なるべく現実の設置場所に近い方が訓練としては良い旨、地域から意見があった。</p> <p>運営の段取りは良くなかった。特に雨の中、状況判断も適切に出来ず通常の長さで各種体験コーナーを実施していたのはいただけなかったと思います。臨機応変に短縮することもできたと思います。</p> <p>強風があってもトイレが飛ばないように措置を講ずる必要がある。</p>	<p>雨天時等における訓練内容について、検討します。</p>
	<p>マンホールトイレの便器固定用のアンカーをアスファルト面に何らかの方法で取り付ける必要がある。</p> <p>マンホールトイレのテントをコンクリートに打ち込む杭を設置して欲しい。砂袋では相当重いものを用意する必要がある。</p>	<p>より安全・快適にトイレが使用できるための設備について検討します。</p>
	<p>マンホールトイレはどの学校にも設置されているのか。順次、整備をして欲しい。</p>	<p>計画的な整備に努めます。</p>
	<p>トイレ以外の訓練を行いたいという声があった。</p> <p>災害トイレ講習と配布物を受け取るために体育館に入る列が、校舎側に伸びていたため、一度校舎内に入り並ばなければならず、入り口には列ができていて、体育館の中は空いていて、効率的ではなかったと思います。</p>	<p>統一テーマのあり方について検討します。</p>
	<p>地区協議会が主体となり、教員や地域住民を巻き込んだ取組を実施しているため、市の統一テーマ（教職員・住民によるトイレの組立）を実施してもらうことは困難であった。</p>	

令和元年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

項目	ご意見等	検討の方向性等
統一テーマ	他の学校で、同様な状況の場合に、訓練が行えたのか、行えた場合はどのように実施することができたのか今後のために共有させていただきたい。	これまでと同様に、今年度の実施結果報告書を取りまとめ、冊子を作成するとともに、ホームページにおいて公開します。冊子の中においては、各学校における取組の掲載を継続します。
「一命」の授業・啓発講話	<p>子供達が、全く意欲的でない感じがした。もっときちんと取り組むことの意味を、伝えてから訓練すべき!!!</p> <p>午後に自由参加ではなく、午前中の授業の中でもっと体験などの実践をして欲しい。</p> <p>外部講師を呼んでいるので、もう少し時間を作って、充実したものに出られないものかと思いました。</p> <p>多摩川エリアは川にも近いので、水害についての知識も大人子供ともに高められるとよいと感じています。</p> <p>講演が知っているような内容で残念でした。もっと防災意識が高まる内容だと嬉しいです。</p> <p>講話だけではなく、訓練も実施してほしい。</p> <p>講義も良いが、実技などがあるとよい。</p> <p>引き取り前に授業や講話を観れるようにすれば参加者も増えると思います。</p> <p>公開授業のあとに体育館で講演会や体験会を開いてくださっていたが、参加人数が少なくもったいない印象でした。話はよかったです。スライドは見にくかったです。</p> <p>講話は、せっかく役に立つお話してくださっているのに、保護者、地域の人の参加が少なく残念。</p> <p>朝1限の公開授業、移動しての防災に関する講話、その後の空白の1時間以上、親にとっては非効率的なスケジュールに思えました。</p> <p>防災講話などの良いお話は、後日でも良いのでお手紙などくと読めるかなと思いました。</p>	<p>関係機関等と連携の上、講演や訓練内容の充実について検討します。</p> <p>より多くの方に参加いただけるよう、周知方法を検討します。</p> <p>これまでと同様に、今年度の実施結果報告書を取りまとめ、冊子を作成するとともに、ホームページにおいて公開します。冊子の中においては、各学校における取組の掲載を継続します。</p>
避難訓練	<p>屋外だと話の内容が聞き取りづらいので要点をまとめたお手紙があっても良いと思った。</p> <p>地域的には、多摩川が氾濫しかけたらどうするか（本当に校庭避難が最適なのか？）カラスや上に何も安全な場所、とは具体的に校内のどこか、（窓際の子どもも自分の机に潜るのが最善なのか？）など、その学校や地域に合わせた、個別の具体的な防災対策が必要だと感じました。</p> <p>実際に災害が起こった時の手順に沿った訓練をしてほしい。</p> <p>訓練時の校内放送の声が小さく、教室内でも聞き取り難く、廊下に出るとさらに聞こえなかった。</p> <p>教室のなかでは子供が机に身を隠し、防災頭巾を被り、マスクと軍手でフル装備の子供たちが真剣にとり組んでいるのを廊下では引き取りの人たちが並んでただ待っているだけではなく、しゃがんだり、頭を守る振りをしたり、ハンカチで口を押さえるなど、ただ待つというだけでなく、自分たちができる範囲で取り組めるよう、指示をしていただけたらと感じました。</p> <p>動物（犬）と一緒に避難したいのですが、調布市ではこういった対応なのか知りたいなど、調布市の防災に関するマップを作成して頂きたい。</p>	<p>地域性等に応じた、より個別・具体的な訓練を各学校において実施できるよう、情報提供等の支援を継続します。</p> <p>現在の訓練も実際の災害を想定したうえで実施していますが、より実効性のある訓練となるよう学校と連携のうえ対応を検討します。</p> <p>分かりやすい周知について、学校と協議のうえ検討します。</p> <p>この時間に保護者への可能な啓発や市職員訓練の参加などの対応を検討します。</p> <p>ペット対応は防災マップや避難所運営マニュアルに記載されています。また、市HPでペット対策についてお知らせしています。</p>



項目	ご意見等	検討の方向性等
引渡訓練	<p>運動場にいると、携帯が鳴っているのにも気づかない人も多かった。いっそ保護者は自宅にいて、通知があってから学校に向かう方が訓練になるかと思う。</p> <p>引き取り訓練は毎年教室で行われていますが、校庭引き渡しの年もあっていいように思います。</p>	<p>引渡しの方法は、災害、天候等により様々な状況が考えられますので、実効性ある訓練内容について学校と連携の上、検討します。</p>
	<p>授業の公開や講演会もあり、それらに参加すると家に帰る余裕なく学校で時間をつぶし、学校でメールを受けるので、少し意味が薄れるような気がします。親はメールが来るまで家で待機し、メールと共に行動をおこし、学校へ子どもを引き取りにいった方がよいのではないのでしょうか。</p>	
	<p>引き取りの前に授業参観があり、メール配信の前に引き取りのために廊下に並んで待機していました。これでは震災が起きたときに引き取りのために掛かる最低限の時間さえ把握できないのではないのでしょうか。</p>	
	<p>引き渡し訓練や保護者への教育がマンネリ化し、馴れ合いになっている気がしています。</p> <p>単なるお迎え行事になっていて、現状では毎年参加する意義が見出せない。抜き打ちで行って、児童引き取りにどのくらい時間がかかるかなど、想定される問題点を見出すことができる訓練を行ったほうがよいと思う。</p>	
	<p>室内での引取り訓練で継続お願いしたいです。</p>	
	<p>引取り訓練の時間を12時～12時15分と指定があったり、訓練前に授業参観で保護者がすでに在校している状態では訓練の必要性を感じられませんでした。</p>	
	<p>引取り時間の連絡が事前になく、40分程待たされた。慣れている人は一度帰宅していたが、帰宅可能という案内も無かった。時間変更や引取り場所変更も直前にあり、震災の時に大丈夫かと不安になった。</p>	
	<p>実際の災害のように、保護者が数時間後に引き取りに来る（勤務、外出先からの徒歩帰途のため）ような訓練も必要では。</p>	
	<p>今年の児童の引渡し訓練は天候不良の場合でしたが、実際は天候不良の場合でも校舎に立ち入ることは危険ですので現実的ではない為、雨等の場合校庭での引渡しなのか体育館等での引渡しなのかが不明でした。</p>	
	<p>今回は、一部兩バージョンの実施をしたことで、室内での引き取りがなかなか困難であることが判明した。今後、実施を重ねていく中では、「雨の場合」「体育館が（危険で）使えない場合」などの設定で実施してみることも必要か？</p>	
	<p>引き渡し場所変更の連絡を早くほしかったです。</p>	
	<p>雨天を考慮しての教室での引き取りは、下駄箱でスリッパに履き替えて…などタイムロスが多すぎて意味あるのかな？と思ってしまいます。</p>	
	<p>引き渡しというより、お迎えに行ったという感覚でした。防災意識の向上には親子ともに繋がりませんでした。</p>	<p>緊張感を持ち、円滑に訓練が実施できるよう学校と連携の上、検討します。</p>
	<p>果たして緊急時に児童を適切かつ円滑に引き渡し出来るのかという緊張感に欠けた訓練および父兄に対する誘導案内だった気がします。</p>	
	<p>引き渡し訓練に対する教職員の方々の意識が低かったように思えました。</p>	
	<p>引き取り訓練もこの日(年に一回)のみなので時間をずらす事が無理なのであれば、年に一回ではなく本来の防災の日の9月1日も行つようにするなど保護者もきちんと参加できるように配慮をお願いいたします。</p>	<p>原則として、防災教育の日に実施します。</p>
	<p>体育館での待機時間の間に防災についての具体的な説明などあれば、引き取り後の訓練にももっと興味を持つと思う。</p>	<p>市職員が行っている訓練への参加を案内するなど、待ち時間の有効活用について検討します。</p>
	<p>実際に引き取りすることになったら会社から駆けつける事を考えると微妙な気がする。学校の案内にフェンス側に父兄が並ぶように記載があったように記憶していたが校舎側に待機となっていて困惑した。</p>	<p>現状を確認し、今後の検討課題とします。</p>
	<p>実際、震災が起るときは保護者は校舎内に待機はしていません。校舎内も大変混雑するので引き取り前に廊下に並ぶこともあり引き取りはスムーズにいきすぎていて、訓練になっているのか微妙です。待機はせずメール配信後に学校へ出向くなど検討してもよいのでは。</p>	
	<p>並ぶ時の案内がなく混乱していました。</p>	

令和元年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

項目	ご意見等	検討の方向性等	
引渡訓練	<p>引き取りができない子供への対応について改善が必要だと感じた。</p> <p>東日本大震災の時は、交通機関が止まっていたが、そういう場合などはどうしたら良いのかイメージがわかなかった。</p> <p>電車が止まったりしたら、それこそ何時間も行かないし、翌日や翌々日にお迎えなんて事も十分にありえる。なので、保護者の引き取り訓練は1年生だけで良いと思う。</p> <p>災害当日に迎えに来られない子供が学校に泊まる事を想定をし、男子女子に別れて仮眠を取れる場所の確保等のシミュレーションをした方が、いざそうなった時に皆（子供、保護者、先生等が）慌てなくて済むし、迎えに来れない保護者も安全な学校に子供が居るといふ安心感があると思う。</p> <p>働いている保護者が大多数の今日、はたして万が一の災害等で保護者は迎えに行ける状態なのか疑問です。引取り訓練より、引取りしてもらえない場合の訓練をした方がいいのではないかと思います。</p> <p>本当の災害時、迎えに行けない場合に学校側の動きなどがわからない。</p>	<p>原則として、児童・生徒は、保護者等による引き取りがあるまで、在校させることとしています。</p>	
	<p>中学と小学校で引き取り訓練が同じような時間設定なので、両親参加出来ない場合、もう少しずらしてもらえると助かります。</p>	<p>小・中学校の引渡時間は若干ずれている学校もありますが、改めて状況を確認し、学校と連携の上、検討します。</p>	
	<p>一番上の子から引き取りの意味がわからない。</p>		
	<p>保護者による引き取り訓練は、中学生も必要か、ご検討頂きたいです。</p>	<p>災害時は、原則として、児童・生徒を安全に保護者等に引き渡す必要があると認識しています。そのため、訓練を繰り返すことが重要であると考えます。</p>	
	<p>引き渡し訓練の必要性を感じない。</p>		
	<p>引き渡し訓練のメールにどんな訓練なのか趣旨が無く、引き渡し場所等の詳細が記述されていた。保護者としては引き渡し場所等が詳しく書いてあるのは助かるが、プリントにはあったとしても、どんな訓練なのか（震源や震度、児童の無事等）は書いてあった方が訓練としてはいいかなと思いました。</p>	<p>状況を確認し、学校と協議していきます。</p>	
	<p>小学校の引取り訓練の際の、校長先生、市の職員、消防署の方の挨拶が長い。</p>	<p>引渡訓練の際の挨拶が長くなりすぎないように、検討します。</p>	
	<p>震災が実際になった場合も、訓練同様児童を校庭から教室へ戻すのか疑問が残る。安全が確認できたとしても建物内に戻るのには余震で崩れる恐れを想定すると戻すべきではないのでは。</p>	<p>学校は避難所となるため、耐震化工事を完了し、安全性は確保されておりますが、実際の災害時には建物の安全性を確認したうえで判断することが必要であると考えます。</p>	
	避難所運営訓練	<p>地区協議会は小学校とのかけもちであり、負担が大きいのではないかと考えた。地区協議会の参加を考え、午後に2時から生徒による訓練となっているのであろうか。集合から10時までと事前のトイレ組立訓練後午後2時までの時間を持って余っていたようである。学校の都合もあると思うが、改善を望みたい。</p>	<p>地域の方のみならず、保護者や児童・生徒を含め、より多くの方に参加いただけるよう、訓練内容、時間について検討します。</p>
		<p>学校の引き取り訓練のあとに、出直すのは面倒。</p> <p>一旦帰ると午後の訓練に、参加しにくい。子供の参加させたいのであれば、午前中に組み込む方がいいと思いました。</p>	
<p>午後の防災訓練は都合が合わず参加したことがありませんが、実際の災害時に役立つ訓練だと思うので、午前中の講演会などの時間にやってもらえたら、参加率が上がるのではないかと思います。</p>			
<p>6年生でしたが、土曜午後は塾があるなどの理由で不参加のかたが多かった印象です。難しいかもしれませんが、正課のプログラムとしてしまったほうが、啓蒙効果があがると思いました。</p>			
<p>午後の部については、市のホームページを見ないと内容も、時間もわからないので非常に不親切。</p> <p>保護者への参加協力の依頼を行う必要を感じた。</p>			
<p>中学校の午後の訓練に、小学校の保護者に参加してもらっては。</p>			
<p>中学校では、保護者の参加が非常に少なくて残念。工夫をしたほうがいいと思う。</p>			
<p>学校の引き取り訓練後の、午後の学校主催ではない地域の一般の方も参加可能な訓練について、地震の震度が体験できる車や、AED訓練、アルファ米の配布、マンホールトイレなど、もっとアピールして、参加者がたくさんいると、実際に役に立つのではないかと思います。</p>			
<p>炊き出しなどの活動ありましたが、先生などだけでなく、地域の人も参加できる体制や工夫が必要ではないかと感じました。</p>			
<p>実際の活動は一部の生徒とお手伝いの保護者の参加でした。お手伝いはいらぬと思うので、生徒全員参加の活動にした方がいい。</p>			

項目	ご意見等	検討の方向性等
避難所運営訓練	ほとんどの保護者が講演会前に帰り、引き取りの時に改めて来ていました。アルファ米の配布等のタイミングを工夫して、保護者の世代の防災意識を高めることが非常に大切です。	地域の方のみならず、保護者や児童・生徒を含め、より多くの方に参加いただけるよう、訓練内容、時間について検討します。
	引き取り訓練の前に行わないと、毎年同じ意識の高い人しか参加していない気がします。	
	係の方や学校の方以外に、あまりいなくて、ほとんど内輪な感じがして、逆に引き渡しが終わった学校に通っている子どもたちや学校外の方が部外者的な感じもして、参加しづらいのではないかと、思いました。	
	今回の訓練の参加に取組を安定的に継続していくためには、若い世代の参加や地元の事業者の参加なども検討が必要だと感じた。	御指摘いただいたアレルギーに関する内容を含め、訓練内容について正確に周知できるよう、改善します。
	アルファ米の炊き出しを行って、昼食として実食したが、食物アレルギー対応のアルファ米を用意していることを案内する際、「アレルギーをお持ちの方用の」という表現を繰り返していた。これに対して「アトピーの人もあるよね」という声を拾った。生死に関わる事柄については、正確な伝達ができるよう呼びかける（地域住民の方々にも）必要があるのでは。	
	学校により訓練参加者の偏りが大きい、訓練内容が変更される場合は、内容により工夫する必要があると思う。 保護者を巻き込んで訓練するなら、校庭引き取りだけではなく、学年によって場所を変えたり、備蓄庫の説明をしたり少し応用編もあるとよいと思う。 避難所運営訓練は形ばかりで意味を感じられなかった。	避難所設営・運営訓練について、地域や関係機関と連携のうえ、より一層の充実に向けた検討をしていきます。
備蓄品	各教室にトランシーバーが配備されていたらもっと良いと思います。	備蓄品等に関する必要な対応については、庁内連携のうえ対応を検討します。
	避難所分のヘルメットがなかった。一番必要ではないか。	
	チャッカマンがあった方が良いのではないか。	
	備蓄倉庫は、市の職員が来るまで開けられないため、ヘルメットと軍手と斧ぐらいは体育館内に設置しておくのはどうか	
	バンドエイドは6箱あったが、養護室にある備蓄の方が多い。6箱では少ないため増やしてほしい。	
	古いものが入ったまま。例えば、アルコールコットンが乾いている。	
	感染症（ノロなど）対策用で「消毒液」「使い捨てゴム手袋」「プラ袋」「サランラップ」を昨年も強く要望したが、今年も要望した物は備品に追加されていないのはどうしてか。	
	備蓄倉庫にスピンドルドライバーが無い。昨年も無く、問い合わせ及び要望したが、補充されていないことに不満。	
	未開封の箱に「パーテーション」とのみ記載。何のパーテーションか分からず開封して確認。マジックで記載しようとしたが、マジック無い。物品の準備不足。	
	備蓄品は梱包されているものが多い。いざという時使いにくいので梱包の解けるものはといてほしい。	
	懐中電灯が電池漏れして使えなかった。常に使える状態にしてほしい。	
	防災備蓄倉庫内の照明用ランプの電池が液漏れしており、点灯不可となっている。早急に電池補充を願いたい。	
	発電機の使い方が分からない。	
	発電機等などの機器が正常に稼働するかどうか、適切な定期点検を行うようお願いしたい。	
	体育館内のデジタル防災行政無線の場所は、具体的にどこにあるのか図面で明確にしておく必要がある、また、操作方法も併せて一緒に備え付けておくことが望ましい。	
他の学校の防災倉庫には棚がついており整理がしやすいが、調和小の倉庫にはついていないため、備品の確認がしにくい。他の学校と同様に棚を設置してほしい。		
教員だけでなく、児童もヘルメット着用としてほしい。個人購入でも良いので、置き場所確保を検討していただきたいです。		
防災頭巾は本当に災害時に頭を守るのでしょうか？		

令和元年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

項目	ご意見等	検討の方向性等
備蓄品	<p>地区協議会も協力するので、備蓄倉庫の中の点検を定期的に行う。</p> <p>防災に積極的な地区協は備蓄品を独自で購入している場合があるので、それらと市の備蓄品の管理方法について整理しておく必要がある。</p> <p>防災備蓄倉庫内の備品の把握に努めてもらいたい。</p> <p>備蓄倉庫の確認作業に参加しましたが、中にある物の一覧が分かりづらく、新しくした方が良いのでは、と思いました。</p> <p>備蓄倉庫（新しい備蓄倉庫）に物品リストが貼られていないので何が入っているのかが分からない。</p> <p>備蓄倉庫に貼られている備蓄品の写真が古い。今とは配置が異なり誤解が生じる。</p> <p>備蓄倉庫の扉に備蓄品所在一覧と配置図があったが、平成26年10月現在のままであったため、定期的な確認と一覧表の更新を行った方が良いと感じた。</p> <p>備蓄倉庫に貼られてある小学校校庭の配置図の向き（方角）が実際と違う。上下反転させた方が実際の向きと合うのでその方が分かりやすい。</p> <p>防災倉庫は2基設置され、倉庫内のスペースには比較的余裕があるので、備蓄品について整理整頓の必要性を感じた。地区協とも連携しながら改善の余地があると思われる。</p>	<p>市・学校・地域が防災備蓄品について、共通理解が図れるよう、今年度の市統一メニューの訓練の一つとして実施しました。地域の方と協働による備蓄倉庫の確認・整理等の検討を進めます。</p>
防災無線	<p>隣接する若葉小学校と第四中学校の合同の避難所運営マニュアルが作成されているが、デジタル防災行政無線の設置場所について記載がなかったので、マニュアルの改訂が必要だと感じた。</p>	<p>必要な対応については、庁内連携のうえ対応を検討します。</p>
メール	<p>それぞれどの場所に行って、どこで待機するかなどが、学校からの案内やメールに記載されていれば、より安心でした。</p> <p>防災メールは、訓練後に気づいたので、もう少し早い時間の連絡が良かった</p> <p>一斉メールが届くのが遅く、教室引き取りが分からなかった。</p> <p>メールの活用がよく分からなかった</p> <p>緊急地震速報のメールなどが届きませんでした。学校の案内で引き渡しには行きましたが、メールの案内が来るものではなかったのでしょうか。もう少し早く訓練のメールを送ってほしかったです。</p> <p>事前に配布された要項と、メール配信内容に齟齬があった。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き取り時間の変更</li> <li>・雨天教室との記載はあったが、当日は曇りで雨は降っていなかった。</li> </ul>                     本当の出来事ならば要項等ないのだから、臨機応変にするのだが、要項を配布した以上はその通りに実施すべきだと思います。</p> <p>質問の回答欄に『ちょうどよい』の選択肢があったほうが回答しやすいと感じました。</p> <p>訓練のメールこそ、受信確認や安否、引き取りに行けるかなどを確認すべきと思う。</p> <p>震災がきたとき、安心安全メールが正常に機能するか心配。                      SNSやアプリを利用して緊急時の通報を分かりやすくしてほしい。</p> <p>地震などでインターネットや電話など通信インフラがダウンした場合を想定したシミュレーションも必要かと感じました。</p> <p>携帯持参は禁止されているため、今後地震などの緊急速報があった場合、通学途中のお子さん（遠方）の対応を考えてほしいと思います。</p> <p>アンケート未回答者への回答依頼メールが小学校から送られているのか、中学校から送られているのかよくわかりません。返信していない人に再送と言われても、防災の日に関しては一度返信をしているので…。</p> <p>アンケート回答済みなのにアンケート未済のメールが来たので再度、回答していますが、どうということなのでしょう。</p>	<p>メールの配信内容をより分かりやすくするなど、学校と連携の上、対応していきます。</p> <p>当日、天候が不安定だったため、急遽、引き渡しの方法を雨天対応とした学校もありました。より分かりやすい案内ができるよう、検討します。</p> <p>アンケートの選択肢について検討します。</p> <p>引渡訓練の効果的な方法等について検討します。</p> <p>通学途中に発災した場合は、自宅が学校の近いほうに自主的に避難することになり、各学校にて児童・生徒に周知しています。</p> <p>アンケート未回答者への回答依頼メールは教育委員会から送付しています。登録している児童・生徒が2人以上いる場合、複数回の依頼メールが送付されます。</p>

項目	ご意見等	検討の方向性等
メール	<p>メール登録していない人への案内をもっと繰り返ししてほしいと思いました。</p> <p>訓練当日のメールの登録方法をもう少し丁寧に説明していただけるとありがたいです。</p>	<p>学校安全・安心メールの未登録者への案内は、学校からは入学式及び始業式の際に、教育委員会からはクラス登録の未登録の方に4月12日・19日の2回送付しています。そのほか、未登録の方への登録案内は、学校から随時行っている状況です。登録方法が分からない場合は、メール配信業者や教育委員会教育総務課にお問い合わせください。</p>
事前打ち合わせ	<p>実施する側の準備が足りないように思えました。</p> <p>今回の訓練への地域住民の参加は、午前中おやじの会、午後は自治会の方たちが参加いただいたが、両会の方々も実際に避難所を開設運営となった際の自分たちの役割を認識していない感じであったので、もう少し事前に訓練の意義や目的等について丁寧な説明をしておいた方がよかったと感じた。</p> <p>地区協議会等の事前準備（打合せ会、地区協の会合等）に市職員も参加し、顔の見える関係を作っておくと、訓練自体がより一層効果的なものになる（市職員が全体像をイメージした上での動きができるようになる）と考える。</p> <p>2年目の訓練で、マンホールトイレの排水弁を開閉するレバーを訓練中によりやく発見。当レバーは昨年訓練時には入場不可だった新しい体育館の備蓄倉庫の中に保管されていた。体育館施設の引き渡しの際の引き継ぎが円滑になされていなかったと想像するが、学校側と行政側での意思疎通が不足だったと認識した。</p>	<p>事前説明会や避難所担当職員研修等による意識付けや、当日の具体的な役割分担等を明示します。</p> <p>何らかの形で地域住民と共有できる場の検討が必要です。事前説明会や当日に説明できるよう検討します。</p> <p>学校・住民・行政の間で、普段からの打ち合わせは重要です。可能性を検討します。</p> <p>学校とは様々な点において共有が肝要です。多くの点で共有できるよう、検討します。</p>
市職員	<p>予想はしていたが、当日、何を実施するのか、あまり把握せずに参加している職員もあり、リーダー任せの感は否めなかった。</p> <p>避難所運営、避難所のスペースなど、現実的でないように感じました。特に実際の指揮系統は誰がどのように進められるのかなど、確認できるとよかったです。</p> <p>参加した職員は経験を積んだ方が多いが、災害時には全職員が対応できなければならないので、対応スキルの底上げが必要と感じた。</p> <p>市職員において、避難所担当となったものが繰り返し訓練をして着実に運営力をつけることの重要性はわかるが、一方で多くの職員が災害時の避難所運営に対応できる体制の構築が必要だと思う。たとえば備蓄倉庫の確認とトイレ組立訓練を新人職員研修の一環としてはどうか。</p> <p>水防訓練時の新人派遣だけではなく、消防団などの訓練や地元地域住民の避難訓練などにも、積極的に市の職員が携わることで、地元住民への災害に対する職員一人一人の責任能力が、地域と相互に向上できるのではないかと考察する。</p> <p>市職員は、全体の奉仕者として、自らの業務もあるが、有事の際は、市民のために自ら率先した行動をするべきと考える。また、市内在職職員が少ないことは、地域住民からの指摘もあったので、市役所全体として、真摯に対応すべきと考える。</p> <p>市職員が会場でもう少し地域住民に対して指導、展開できるように準備の必要があるのでは。</p> <p>訓練を円滑に実施するためには、リーダーとなる市職員に事前の丁寧な説明と情報提供が必要であると感じた。特に、学校との事前調整に必要な情報が皆無であった。</p> <p>新しい体育館に入場するためのセコムカードは旧体育館のカードを引き続き利用できるが、新体育館内の管理室（デジタル無線あり）等に入るための2種類の鍵を持っていない。</p> <p>現在使用可能か不明な鍵や用途先が不明な鍵があった。</p> <p>今回、市職員の参加で、初動要員に当たっている職員が皆、避難所担当職員として他の学校の訓練に参加しており、染地小への初動要員の参加がなかった。初動要員と避難所担当職員両方が参加できるように割り当てをしていただいた方がよいと思う。</p>	<p>事前説明会や避難所担当職員研修等による意識付けや、当日の具体的な役割分担等を明示します。</p> <p>指揮系統の確認等を含め、避難所運営マニュアルに避難所運営の具体的な事項が定められています。マニュアルに定められた事項の確認が防災教育の日において可能であるか検討していきます。</p> <p>避難所担当職員は人事異動により変更されるため、10年単位で多くの職員が参加できると考えています。</p> <p>地域住民との関わりは重要です。他の訓練への参加については、関係各課との調整が必要です。</p> <p>有事の際、市職員は率先した行動が必要です。市内在職職員が少ないとのこと意見は、庁内関係部署と共有します。</p> <p>市職員が住民とともに訓練ができるよう、防災対策検討委員会避難所部会による訓練も含め、市職員向けの訓練も継続します。</p> <p>学校や地域からの情報をリーダー等に伝えられるよう、情報収集や情報提供します。</p> <p>初動要員に必要な鍵を携帯できるよう、庁内連携のうえ対応を検討します。</p> <p>次年度は初動要員と避難所担当職員が重なっている職員がいる場合、「初動要員」として参加できるか検討します。</p>

令和元年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書

項目	ご意見等	検討の方向性等
市職員	市の職員が突然いなくなった。市の1日のタイムスケジュールをしっかり把握しておきたい。	例年、市職員の訓練内容は、市職員への周知に合わせ、学校管理職へ1週間程度前にお知らせしています。市職員の避難所担当リーダーと学校管理職の打合せがより確実に行えるよう検討します。
	午前中の訓練内容としては、避難所担当職員、初動要員が多く手持ちぶさたになって、緊張感に欠ける場面が散見した。時間外勤務の関係から、初動要員を朝から参加させていると推測するが、発災時刻からどの程度の時間で初動要員が避難時に到着できるかなどの試みや他の訓練を実施することで緊張感を持たせることが必要と感じた。	他の訓練を含めて実施を検討のうえ、実施する際は役割分担等も工夫して依頼できるよう検討します。
	全体的な流れの中では、かなり時間を持て余してしまっている感が否めなかった。訓練中であることを加味するとあまりよろしくないと思われるので、職員の配置に当たっては配慮する必要があると感じた。	避難所担当職員は現在、避難所担当各部で調整していますが、調整の際、考慮すべき事項も付加して調整できるよう検討します。
	教職員は生徒指導として訓練を見守っていた。市職員とのコミュニケーションが少なかった。	教職員はあくまで児童・生徒の指導が主たる役割ですが、市職員との役割分担についても検討が必要です。
要支援者	避難所運営マニュアルに要支援者の受付の記載をしてけるとよい。	今後、避難所運営マニュアルの見直しにより対応できるか、庁内連携のうえ検討します。
	地区協議会の方は、要支援者の対応が、マニュアルに無いためとまどっ一次避難所内の1階の教室等のスペースに要介護者等のスペースは取れないのか。現在の避難所運営マニュアルは、教室は使用しないことになっている。	
	福祉避難所のあり方について、最初から避難所として開設する、どの程度の障害の方を受け入れるかなど検討する必要がある旨の意見があった。 車いす用のトイレは、介助者のスペースもなく、使用できるものではなかった。	今後の検討課題とします。
災害対応	自宅で避難する場合も一次避難所に届け出をするように言われている。なお、避難所マニュアルには、そのようにはなっていない。	各地域が避難所運営マニュアルの改定に当たり、修正検討を依頼できるよう、総合防災安全課に検討を依頼します。
	二次避難所は、3日後に開設されることになっているが、動くのが大変な人もいるから直接に避難所に避難した方がよいのではないかと。	要支援者を支援する人員体制の観点から、現状の流れとなっています。
	震災時、全世帯が学校に避難出来るとは思えない。基本的に壊れにくいマンションは自宅待機、戸建ては武蔵野の森スポーツアリーナで避難など、事前に決めておくのはどうか？	自宅の安全対策の重要性等について引き続き、お知らせしていきます。
	万が一のときの避難所となる小学校（体育館、校庭）の狭さに不安を感じました。生徒+その家族および近隣住民が避難する場所となったら、収容能力不足なのではないかと。	避難所は自宅が使用できない方などに避難いただくための一時的な場所です。東京都の被害想定に基づき、算出した人数を収容できるよう計算されています。
	遺体安置場所は大切な場所なので、空調などしっかりした場所にすべきではないかと。	避難所での遺体安置はあくまでも一時的なものです。正式な遺体安置場所は別途計画されています。
	災害にあった時、ペットのことが心配である。	防災マップや市HPでペット対策についてお知らせしています。
	動物を連れて避難する際の注意点などの啓蒙活動を更に進めていただきたい。	

## 2-6 令和元年度事業の総括

### より実効的な防災・減災の取組へ

東日本大震災の発生から8年が経過しましたが、この間も熊本地震や記録的豪雨による水害、記録的猛暑などが日本列島を襲っています。

地形の特性上、日本のどの地域においても地震や豪雨、台風などの自然災害が発生する可能性があります。しかし、災害の教訓から学び、備えることはできます。

災害から身を守り、被害を少なくするうえで最も大切なのは、自らが自らの命を守るよう、普段から意識を持ち、備蓄を行い、家族と避難方法や集合場所を確認するなど、万全の準備と対策を行っておくことです。そして、いざ避難することとなった場合に備え、避難所となる学校において、普段から教職員や市職員、消防、警察や、地域の方々との連携を図り、訓練を積み重ねておく必要があります。

「調布市防災教育の日」は、令和元年度で8回目の実施となりました。今年度も、東日本大震災の教訓を風化させないため、被災地から講師を招いての啓発講話や、300人以上の市職員を各学校に派遣して訓練などを実施し、学校や地域の方だけでなく、消防署員や消防団員、警察署員など多くの関係機関から、3万人を超える方々が参加しました。

令和元年度の主な取組としては、新たに桐朋女子中学校・高等学校がシェイクアウト訓練を実施するなど、私立学校3校及び都立高等学校3校の計6校に、シェイクアウト訓練や避難訓練等を実施していただいています。また、各校の避難所運営訓練において、昨年度に引き続き、市職員主導による全校統一メニューによる「避難所におけるトイレの確保・管理」をテーマとした訓練を実施し、各避難所の災害時のトイレ状況を確認し、災害時に使用するトイレを設営するとともに、避難所におけるトイレの課題を地域・学校関係者等と共有するとともに、保護者等にも災害用トイレを見学していただいたことにより、多くの方に理解を深めていただきました。

首都直下地震や記録的豪雨などによる大規模な災害時においては、一定期間、電気・上下水道・ガスなどのライフラインや物流が途絶える可能性があります。避難所の生活は決して易しいものではありませんが、その場にいる全員が当事者として協力し、互いに支え合うことで一人でも多くの命を救うことが可能となります。

平常時から、災害時の状況を想定した訓練を実施し、市民、学校、関係機関が一堂に会してお互いの顔や課題を確認し合うという点において、調布市防災教育の日は一定の成果を重ねてきました。しかし、訓練内容の実効性の向上や、地域の方々のさらなる参加促進、関係機関との円滑な連絡・調整など、改善すべき課題も少なくありません。

来年度以降も、市・学校・関係機関がそれぞれの役割を発揮し、災害時に適切な対応を行えるよう、連携、協力し、訓練の充実を引き続き図ってまいります。



